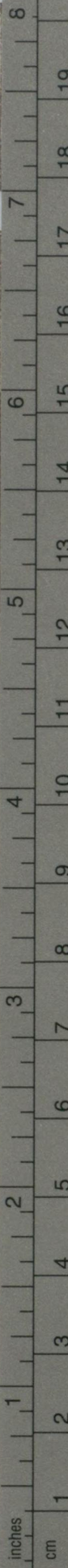


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

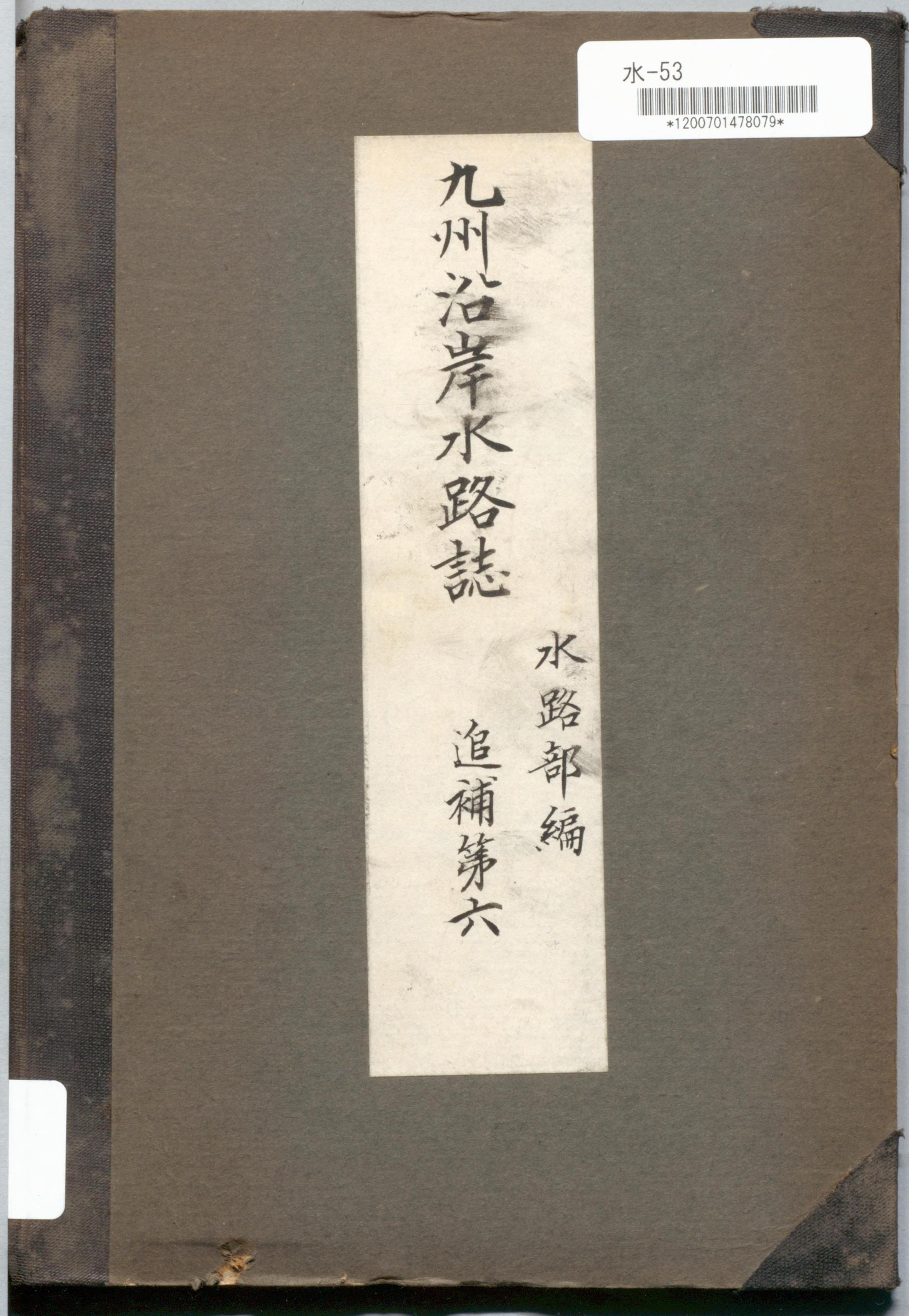
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27



九州沿岸水路誌

追補第六

水路部編

水-53



1200701478079

水
53

追 補 第 4 號 誌 書

九州沿岸水路誌

追 補 第 6

昭和12年3月刊行

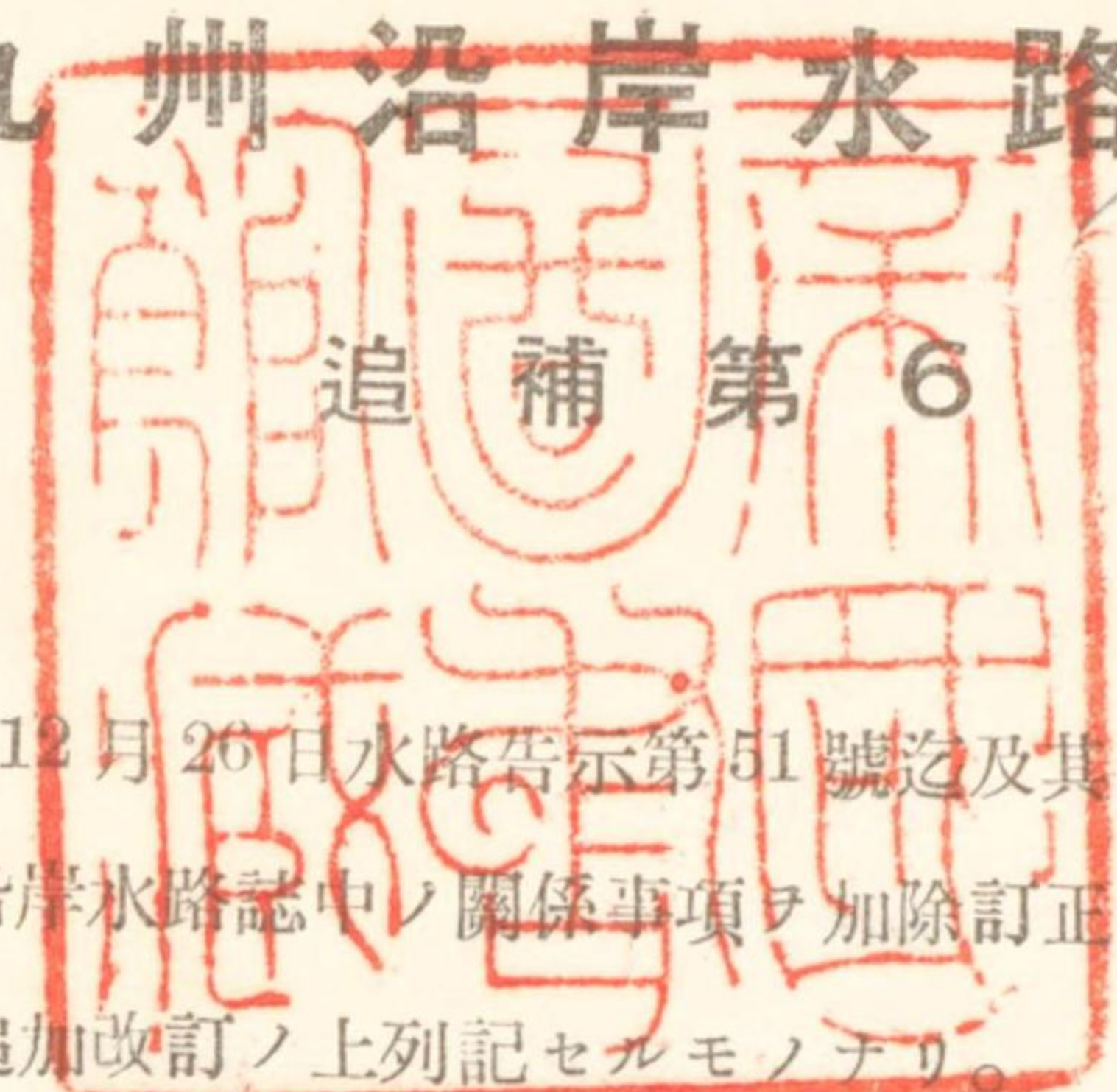


水 路 部

水
53

水
53

九州沿岸水路誌



追補第6

本追補ハ昭和11年12月26日水路告示第51號迄及其ノ他ノ資料ニ據リ昭和5年6月刊行ノ九州沿岸水路誌中ノ關係事項ヲ加除訂正シ之ヲ昭和10年10月刊行ノ同追補第5ニ追加改訂ノ上列記セルモノナリ。

* 附セルハ新ニ追加又ハ改訂記載セル記事ナルコトヲ示ス。

昭和12年3月

水路部

注意

追補ヲ受領シタルトキハ下記ノ如ク取扱フモノトス。

1. 當該水路誌ノ表紙裏ニ在ル追補番號記入表ニ必要ナル填記ヲ爲ス。
2. 當該水路誌ニ貼附セル關係告示紙片ニシテ同追補ニ収録セル以前ノモノハ之ヲ除去スルモノトス、但シ告示別紙ノ貼附訂正用紙竝ニ一時關係告示及豫告告示ニシテ尙効力ヲ存スルモノハ此ノ限ニ在ラズ。
3. 本追補記事中(貼附訂正)ト附記セルハ前項告示別紙ノ貼附訂正用紙ニ依ル告示記事ヲ再録セルモノナリ。
4. 當該水路誌ノ關係箇所欄外ニ「追補参照」ト朱記ス(活字等ヲ用フルヲ便トス)。
5. 簡單ナル事項ハ當該水路誌ニ直接加筆訂正スルモ差支ナシ。
6. 追補ハ常ニ當該水路誌中ニ挾ミ保管スルヲ要ス。



木
53

頁	行	記 事
1	7	2. ノ中 寶瀛水路誌 ノ次ニ 第1卷上下 ヲ追加ス 潮汐 ヲ 潮汐 不知火 ト改ム
3	3	大村灣口 ヲ 佐世保港口 ト改メ 大村灣(佐世保軍港) ヲ 佐世保軍港、大村灣 ト改ム
木 文 1	19	次ノ通改ム 細島(270頁)、三角(196頁)。
	20	第1卷 ノ次ニ 及第2卷 ヲ追加ス
6	8	南部ヨリスル ヲ 南部ヲ通過スル ト改ム
7	10	第1卷第5編 ヲ 第5卷 ト改ム
8	11次	次ノ通追加ス 不知火 古來八代海及島原海灣内有明海ニ於テ出現スト稱セラルル不知火ノ正體ニ就キ福岡縣水産試験場ニ於テ調査セシモノ(出所、有明海干潟利用研究報告)下記ノ如シ。 有明海ニ於テ陰曆除夜出現スト唱ヘラレ千古ノ疑問ト稱セラルル不知火ノ正體ハ、大干潮線附近ニ發生スル「タヒラギ」ヲ採取スル漁火ナリ(「タヒラギ」貝ハ干潟ニテハ太干潮線附近ニ發生ス、冬季ハ晝間ノ干潮ハ小ニシテ夜間ノ干潮ニ非ザレバ發生場附近迄干出ヲ見ズ、故ニ冬季之ガ徒ヲ探リヲ行ハンニハ夜間ニ於テセザルベカラズ、陰曆除夜ニ於ケル漁場附近ノ干出ハ午前2時ヲ中心トスル前後約2時間ナリ)。 而シテ之ハ 1. 今ノ肥前肥後ノ國號ノ起因タル主知ヲヌ火、筑紫ノ枕詞タル「シラヌ火」及海上ノ不知火ノ3者ガ全ク異レルモノナルコト。 2. 八代海及有明海ニ於ケル不知火傳唱ノ起源ハ比較的新シキモノニシテ八代海ニ於テ約300年有明海ニテ約110年以來ノモノナルコト。 3. 一般ニ信ゼラルル如キ微生物ノ發光ニモ非ズ又他ノ何等ノ原因ニモ非ザルコト。 4. 大正5年ヨリ6年ニ至ル實地研究ニ依リ漁火ナルヲ確認セルコト。 等ニ依リ明瞭ニ證明スルコトヲ得。 又陰曆7月晦八代海ニ現ハルル不知火モ亦上ノ研究ヨリ類推シテ同様漁火ト認メテ誤ナシトス。
9	3	潮流微弱ニシテ ヲ削除ス
	4	轉流ス ノ次ニ ルモ微弱ニシテ不定ナリ ヲ追加ス

頁	行	記 事
11	15至16	擴大シ 以下ヲ 擴大ス。 ト改ム
14	23	東洋燈臺表上卷 ヲ 水路誌附録第5卷 ト改ム
14	21	* 次ノ通改ム
16	25至	無線電信局所 無線電信局所、無線電信及放送無線電話ニ依ル氣象通報、無線航行警報、無線電信ニ依ル緊急水路告示放送、放送無線電話ニ依ル緊急水路告示並ニ航路標識ニ關スル放送ニ關シテハ水路誌附録第5卷參照ヲ要ス。 無線電信局 本卷關係區域内ニ於ケル無線電信海岸局、同固定局、同航空局名次ノ如シ。 海岸局 長崎、鹿兒島。 固定局 鹿兒島、佐世保、福江、富江、久賀島、奈留島、本渡、御所浦、登立、湯島、維和、女島、五島樺島。 航空局 福岡、嚴原、富江。 水難救濟 水難救護法 水難救護法、水難救護法施行細則、水難救護法取扱手續等ニ關シテハ水路誌附録第1卷ヲ參照スベシ。 帝國水難救濟會 本邦沿海ニ於ケル人命財産ノ遭難ヲ救助スル爲設ケラレタル社團法人ニシテ明治22年ノ創立ニ係リ本部ヲ東京市深川區永代河岸ニ置キ本邦内沿岸各地ニ救難所、同支所及救難組合ヲ置ク。 本卷關係區域ノ救難所、同支所及救難組合ハ水路誌附録第1卷ヲ參照スベシ。 海難救助ニ従事スル會社 日本「サルヴェージ」株式會社ハ救助其ノ他必要ナル船舶要具ヲ準備シ救助作業ニ従事ス、而シテ同會社ハ東京ニ本社、大阪ニ支店、小樽、函館、門司ニ各出張所、神戸ニ駐在員ヲ有シ其ノ他14箇所ニ代理店アリ。 同社救助船祐捷丸(總噸數880噸、實馬力2,220)、那須丸(總噸數692噸、實馬力1,200)、海元丸(總噸數312噸、實馬力750)、工作船魁丸(總噸數184噸)及吊揚用諸双船(總噸數252噸、浮揚力400噸)ハ門司ヲ、吾妻丸(總噸數431噸、實馬力1,330)ハ函館港ヲ定礎地トシ工作船及諸双船ヲ除ク各救助船ニハ無線電信設備アリ。 次ノ通追加ス 東京中央電信局及銚子無線電信局ニ於テハ無線電信ニ依リ報時信號ヲ放送ス、東京中央放送局ニ於テハ放送無線電話ニ依リ毎日定刻報時信號ヲ放送シ、
17	2次	次ノ通追加ス

木
53

頁	行	記 事
18	2至3	内地各放送局ニ於テ之ヲ中繼放送ス（水路誌附録第5巻参照）。 * 次ノ通改ム 尙詳細ニ關シテハ水路誌附録第1巻所載ノ海港檢査法、同施行規則等ヲ参照スベシ。
19 44	3 28至	* 次ノ通改ム 本巻關係區域ニ於ケル航路ニ就テハ近海航路誌第2編ヲ参照スベシ但シ該誌ハ主ナル航路ニ就キ其ノ一般標準ヲ示セルニ過ギザルヲ以テ航海者ハ宜シク之ヲ參考トシ季節、天候、晝夜、船舶ノ特性等ニ應ジ各自ニ適切ナル航路ヲ選定スベク尙氣象及海流ニ就テハ近海航路誌第1編及本巻第1編ヲ各出入港針路法ニ關シテハ本巻第3編以下當該地ノ項ヲ見ルベシ。
45	9至10 22	多ク沙濱ニシテ古ノ海ノ中道ノ遺跡ヲ過ギ、更ニ ヲ削除ス (海圖179分圖) ヲ削除ス
46 49至	25 欄外	* 7,043(大正14年國勢調査) ヲ 6,033(昭和10年國勢調査) ト改ム 海圖 ノ次ニ 1228, ヲ追加ス
46	7次	次ノ通追加ス 鐘崎港 鐘ノ岬ノ南方ニ在リ、漁船其ノ他小船舶輻湊ス、北東ヨリ南東ニ互リ三面遮蔽セラルルモ偏北西風ニ暴露ス、目下漁港修築中ナリ◎鐘崎町ニ町役場、郵便局、水難救済組合及地方暴風標アリ。
	18次	次ノ通追加ス 沈船 地ノ島南西方約1.2哩ニ沈船(汽船第2博鐵丸720噸)アリ(昭和6年)。
21至22		* 人口 以下ヲ次ノ通改ム 村内ニ郵便局、水難救済組合アリ又官幣大社宗像神社中津宮アリ、良質ノ清水アレドモ量多カラズ◎大島村ハ人口1,641(昭和10年國勢調査)。
47	3至5	次ノ通改ム 筑前大島燈臺 大島北西角ニ在リ、白塗四角形「コンクリート」造、燈高51米。
	5次	次ノ通追加ス 沈船 筑前大島燈臺ノ北西方約7.3哩ニ沈船(220噸ノ汽船)アリ(昭和7年)。
11		* 神湊町ニ 以下ヲ次ノ通改ム 神湊町ハ人口1,816(昭和10年國勢調査)、町役場、郵便局、水難救済組合及

頁	行	記 事
		地方暴風標アリ。
47	22次	次ノ通追加ス 水底電線 福岡縣宗像郡神湊町大字神湊字西口ト同郡大島村字大岸トノ間ニ水底電線1條ヲ敷設シ兩陸揚地ヨリ沖合600米迄ハ線條ノ左右各50米以内其ノ他ハ線條ノ左右各200米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。
48	1至2 2次	此ノ近傍 以下ヲ削除ス * 次ノ通追加ス 津屋崎港 南風時ノ外小船舶ノ繫泊ニ適スル漁港ナリ、港内西側ニ舊軍艦沖島ヲ繫留シ記念軍艦トシテ一般ニ公開ス◎津屋崎町ハ人口6,238(昭和10年國勢調査)、町役場、郵便局、水難救済組合及地方暴風標アリ。
	6次	* 次ノ通追加ス 福岡港 津屋崎港ノ南方約1.5哩ニ在リ、港ノ中央ニ長サ118米幅3米ノ棧橋アリ其ノ前面距岸約200米ニ延長約210米ノ防波堤アリ◎福岡町ハ人口3,900(昭和10年國勢調査)、町役場、郵便局アリ。
	7	(海圖179分圖) ヲ削除ス 新宮港 磯崎鼻ノ東隣ニ在ル漁港ナリ、新宮ニ郵便局アリ◎博多灣鐵道ハ宮地獄ヨリ福岡町新宮港等ヲ經テ新博多ニ到ル。
	22	宗像神社 ノ次ニ 沖津宮 ヲ追加ス
49 53	1 18至	* 次ノ通改ム 水底電線 沖ノ島ト角島トノ間及沖ノ島ト對島東岸鷓知村トノ間ニ水底電線各1條アリ。
		沖ノ島電信局 2等局ニシテ局員ハ燈臺看守ヲ兼務ス。
		沖ノ島燈臺 沖ノ島頂ニ在リ、白塗四角形柱「コンクリート」造、燈高246米。
		海潮流 沖ノ島ハ黒潮ノ流域ニ在リテ其ノ附近常ニ北東流ナルモ、大潮時ニ在リテハ2—3時間南西流ヲ見ル、又島ノ北側及西側ニ湍潮アリ◎明治37年7月中汽船安平丸ハ該島附近ニ於テ、潮流ノ終日南東方ニ流レ其ノ流速約1.5節ナルヲ驗シタリト謂フ。
		志賀島 福岡灣口ノ東側ヲ擁スル多樹ノ亂形島ニシテ官幣小社志賀海神社アリ又郵便局、水難救済組合及地方暴風標アリ◎島ノ南東角ハ狭沙堆(里俗之ヲ道切ト謂フ)ニ依リテ福岡灣ノ北濱ヲ成セル長サ5哩ノ狭沙堆地(里俗海ノ中道ト稱ス)ニ連接ス。

木
53

頁	行	記	事
			道切(満切)ハ低潮時ニモ小舟ノ通航ヲ可能ナラシムル爲、目下修築工事中ナリト謂フ。
		シタエ曾根	志賀島ノ北西角ヨリ北西方ヘ約1哩ノ間ハ岩礁出沒ス、其ノ最外方ノ岩ハ水深3.5米ニシテ玄界島頂ヨリ78度2哩0.3鏈ニ在リ、其ノ南東方ニ近ク水深2米ノ暗岩アリ、之ヲ「シタエ」曾根ト謂フ。
		切立合せ (キツタテアハセ)	「シタエ」曾根ノ北方約6.5鏈ニ在リテ最深部ノ水深7.5米ナリ◎同岩ヨリ玄界島頂ハ243度30分2哩3.6鏈ニ當ル。
		玄界島	福岡灣ノ西側ヲ成シ四面險崖ニシテ、島ノ北端附近ニ3岩アリ黒瀬ト謂フ、其ノ東方ニ近ク高潮ニ沒スル岩礁アリ◎島ノ南端ヨリ198度約1.3哩ノ間ハ水深6-9米ノ淺瀬擴延シテ、之ト陸岸トノ間ニ水深11米ノ狹水道ヲ存ス◎島ノ南岸ニ玄界港アリ、港ノ前面ニ船溜アリ其ノ兩側ニ200米ヲ隔テテ防波堤アリ、港内ニ水難救濟組合アリ。
		玄界島燈臺	玄界島頂ノ東北東方約2鏈ニ在リ、白塗圓形塔「コンクリート」造、燈高80米。
		柱島	玄界島北西角ヨリ310度約3.5鏈ノ處ニ位シ直立尖柱ノ如シ、之ト玄界島トノ間ハ多岩ニシテ淺水ナリ◎柱島ノ北方約1哩ニ玄ノ瀬アリ、水深9.8米ノ點礁ナリ。
		大机島	玄界島ノ南端ヨリ198度ニ擴延セル淺瀬ノ西界ニ在リ、其ノ南西方1鏈ニ小机島アリ◎大机島ノ南東方2.5鏈ニ「クタベ」瀬〔平瀬〕ト稱スル高サ1.1米岩アリ、其ヨリ更ニ南方3鏈ニ水深5.1米礁、南西方1鏈ニ水深0.4米礁アリ◎小机島ノ東方約3鏈ニ干出0.2米ノ岩アリ「コクタベ」瀬ト稱ス。
		人工漁礁	玄界島頂ノ西南西方約1哩ニ築設セリ、水深11.4米(昭和8年)。
		福岡灣 (海圖190)	志賀島ト玄界島トノ間ヨリ深入セル灣ニシテ、其ノ外口ハ玄界島及其ノ近傍諸嶼ニ依リテ偏西風ヲ保障ス、灣口ハ幅約2哩ニシテ偏北風アルトキハ大浪滾入ス、灣ノ内方東部ハ充分ニ各方ノ風浪ヲ障屏ス◎殘島ノ東方ハ水深急ニ減ジ灣首ニ近ヅクニ隨ヒテ漸ク淺シ◎灣岸ハ概ネ卑低多沙ニシテ、其ノ南側ニ那珂川ヲ挾ミテ福岡市アリ、同市街南方ノ山脈ハ多樹ニシテ其ノ高サ600-1,000米ナリ。
			灣内ニ宮ノ浦、濱崎、横濱、殘島、姪濱、箱崎、奈多ニ水難救濟組合アリ。

頁	行	記	事
		錨地	偏北風時ニハ志賀島ノ南陰、偏西風時ニハ殘島ノ東側水深適度ノ處ニ好錨地ヲ得ベシ、然レドモ該島北端ヲ繞航シタル後ハ水深急減スルコトヲ忘ルベカラズ。
			和船ノ好錨地ハ宮ノ浦ニシテ郵便局及地方暴風標アリ、今津灣ノ西部ニ濱崎及横濱アリ、濱崎ノ北東方海岸ニ日本赤十字社今津療病院アリ、其ノ南方海岸ニ防波堤アリ、濱崎南西方海岸埋立地及今山北方海岸埋立地間ニ棧橋アリ◎横濱ノ南東方ニ今宿港アリ、妙見岬ノ東方博多港界内ニ姪濱港アリ共ニ糧食等相當豊富ナリ、今宿ハ人口2,683(昭和10年國勢調査)ヲ有シ郵便局アリ、姪濱海岸ニ延長約138米ノ防波堤築造中ニシテ其ノ兩端ニ標識ヲ設置シ夜間ハ紅燈ヲ點ズ。
		殘島	灣ノ中央ニ在ル多樹島ニシテ志賀島トノ間ハ無礙ノ水道ヲ成シ殘島側ハ稍深シ◎殘島ノ西岸附近ニ象瀬〔立岩〕ト稱スル顯著ナル岩アリ、高サ17米◎象瀬ノ南方3.5鏈ニ相ノ瀬アリ、水深9.8米、底質岩ナリ◎象瀬ヨリ192度約1,500米ニ水深3.6米ノ暗岩アリ御山出シト謂フ。
			殘島南側狭部濱崎妙見岬間ノ水深ハ最大6.3米ニ過ギズ。
		常空庵潮	殘島南西方ノ今津灣内ニ在ル水深1.8米ノ暗岩ニシテ今山南頂ヨリ78度1,700米ニ位ス。
			常空庵瀨ノ東方約450米ニ洗岩アリ雲瀨ト謂フ、又今津灣ノ西側寶島ノ東方約300米ニ水深3.2米ノ地ノ折龜ト稱スル暗岩アリ。
		針路法	福岡灣ニ入ルニハ一般ニ北口ヨリ入進スベシ◎博多港方面ニ入泊スル船舶ハ殘島頂(195米)ト油山北頂(569米)トヲ一線153度ニ保視シテ航進セバ沖合ノ危險竝ニ玄界島、志賀島ヨリ擴延スル諸礁ヲ避ケ得ベシ◎既ニ志賀島南端ヲ85度ニ望ムニ至ラバ該島ト殘島間ノ水道中央部ヲ航過スル様針路ヲ變ジ適宜錨地ニ達スベシ◎今津港方面ニ向フニハ昆沙門山ノ樹頂(201米)ヲ正首ニ保チ玄界島燈臺ノ東方約1哩ヲ通過スル如ク航進スルヲ可トス。
			西口即チ大机島ノ北側竝ニ南側ノ兩水道ハ船舶ノ吃水ニ依リテハ利用シ得ベキモ航路ニ近ク前者ニハ6.6米後者ニハ5.1米ノ淺處アリ注意ヲ要ス。
		博多港	往昔ハ袖湊ト稱シ唐船ノ出入セシ我國最初ノ貿易港トシテ著名ナリ、明治33年開港ニ指定セラル。
		港界	殘島ノ北端ヨリ道切(満切)ニ引キタル一線及小戸鼻ヨリ殘島ノ南端ニ引キタル一線以內トス。

木
53

港ノ南濱及東濱ハ福岡市ニシテ北濱ニハ石炭積立棧橋及油槽アリ、港奥雁ノ巢鼻附近ニ福岡第1飛行場アリ。

氣象 卷末ニ附セル氣象表ハ福岡測候所ニ於ケル34年間(明治23年至大正12年)觀測ノ平均ナリ。

地方暴風標 那珂川ノ上流福岡市住吉町東領ニ在ル福岡測候所構内及那珂川口附近(福岡市須崎裏町)海岸ニ地方暴風標アリ。

潮	平均高潮間隔	大潮升	小潮升	平均水面
	9時34分	1.9米	1.4米	1.1米(福岡)
	9時32分	2.0米	1.4米	1.1米(西戸崎)

航行及碇泊禁止區域 博多港修築工事施工中一般船舶ノ航行及碇泊禁止區域下ノ如シ。

航行禁止區域

1. 博多内港沖合浚渫區域ニ於テ浚渫船及唧筒船ノ周圍半徑220米ノ圈内(甲區域)◎同起重機船、混和船及潜水船ノ周圍半徑110米ノ圈内。
2. 博多内港北東方外側埋立區域。
3. 荒津崎北東方防波堤築造箇所。

碇泊禁止區域
上記浚渫船ノ中心ヨリ船首尾方向ニ各490米ノ位置ヨリ甲區域ノ圓周上ニ引キタル4箇ノ切線ト其ノ圓周ノ一部トニ依リテ包マルル2區域(乙區域)。
乙區域航行ノ際ハ作業船ノ錨鎖及浮標等ニ注意スルヲ要ス。

目標 福岡市街ノ中央部西中洲北端ニ福助足袋ノ廣告塔アリ、晝間ハ視認困難ナルモ夜間ハ電飾ヲ施スヲ以テ入港船舶ノ好目標ナリ◎福岡市ノ北東方多々良村ノ小式松ノ中央ハ樹園ヲ成シ好目標ナリ◎名島川口北岸ニ在ル東邦電力會社ノ4基ノ白色煙突及九州帝國大學構内ノ諸煙突モ顯著ナリ◎名島川口北岸福岡水上飛行場ニ於ケル3基ノ無線電柱ハ顯著ニシテ好目標ナリ。西戸崎ノ北西方約1.5哩ニ在ル大岳ハ松樹密生シ、又今津灣西角ノ高峯毘沙門山(樹頂201米)モ樹木密生シ尖頂ヲ成シ共ニ好目標ナリ。

假設標識 防波堤上ニ假設燈臺アリ工事進捗ニ伴ヒ移動ス、内港口東側通航禁止區域ノ北西端ニ假設燈標アリ。

福岡松屋吳服店航空燈臺 福岡市内縣廳ノ北西方約400米ニ在リ、中央鐵骨周圍「ネオン」管、燈高43米。

博多港防波堤燈臺 防波堤北東端ニ在リ、紅塗四角形「コンクリート」

造、燈高11.3米。(建造中)

博多港挂燈浮標 博多港浚渫水路ノ兩側ニ碇置セラル、第1號、第3號、第5號挂燈浮標ハ其ノ北側ニ在リ、黑塗圓筒形、上部ニ格子製樽ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ、燈高水面上3.3米、第2號、第4號、第6號挂燈浮標ハ南側ニ在リテ紅塗圓筒形、構造第1號挂燈浮標ニ同ジ、此等挂燈浮標ハ昭和11年中ニ設置ノ豫定ナリ。

港ノ修築 防波堤ハ西公園下ヨリ地ノ瀨、間ノ瀨ノ暗礁ヲ利用シ北東方ニ築造セラレ延長1,273米、北西風ニ依ル灣内ノ波浪ヲ遮蔽ス、又箱崎海岸ニ延長約1,200米ノ防波堤捨石アリ各端ニ燈(4箇)ヲ點ズ。

第1號、第2號挂燈浮標豫定位置ヨリ防波堤北端、第3號挂燈浮標豫定位置ニ至ル水路ハ幅員約160米ニ浚渫セラレ其ヨリ博多内港入口ニ至ル区域内ハ水深7.3—7.8米ニ浚渫セラレ◎浚渫土沙ヲ利用シ内港東側前面ヲ埋立テ上屋、倉庫、道路、鐵道敷地其ノ他ノ港灣設備用地ニ供シ又那珂川口西方ノ埋立及假護岸1,227米ハ竣功セリ。

上記博多地先埋立地ノ西岸ニ沿ヒ延長400米、水深7.8米ノ繫船岸壁ヲ築造シ3,000—6,000噸級汽船3隻ヲ繫留スルヲ得シメ之ニ接續シテ延長100米、水深3.6米ノ岸壁ヲ築造シ小形汽船及解船ノ接岸ニ便セシム、尙同埋立地ニ延長877米ノ假護岸ヲ築造ス。

繫船浮標ハ港内錨地ニ8箇ヲ設置シ4,000噸級汽船2隻、3,000噸級汽船2隻、1,000噸級汽船4隻ヲ繫留スル豫定ナリ。

以上ハ國庫補助ニ依ル修築計畫工事ニシテ西公園東側ノ船溜北側海岸ノ埋立工事完了シ西側海岸ハ尙工事中ナリ。

別ニ博多灣築港株式會社ハ上記築港ノ東隣ニ於テ箱崎町前面一帯ヲ埋立テ其ノ接岸水域ヲ浚渫シテ内港ヲ設ケ更ニ其ノ外方ニ於テ西戸崎南東方ヨリ此ノ内港ニ至ル水路ノ浚渫及防波堤築造ヲ行フ計畫ヲ以テ現ニ工事施行中ニシテ其ノ中埋立地ノ大部分ハ竣工セリ。

既成港灣設備トシテ物揚場延長1,564米、鐵造浮棧橋1、木造棧橋2ヲ有ス。

荷役休止日 四大節ノ外、特許ヲ得レバ祝祭日ト雖モ荷役可能ナルモ博多「ドンタク」(4月30日及翌日)及祇園祭(7月13日至7月18日)ハ年中行事ニシテ人夫ノ呼集困難ナリト謂フ。

補給

燃料 附近ニハ石炭ノ有名ナル産地數多アリ、鐵道ニ依リ搬出シ西戸崎

木
53

頁	行	記 事												
		ニテ供給ス、1箇年ノ輸移出高ハ約79萬噸ニ達ス(昭和6年調)◎石油ハ西戸崎ニ在ル「ライジングサン」石油會社ノ油槽ヨリ供給ス。												
		清水 市營水道アリ、給水所ハ志賀島連絡船發着所脇ニ在リ、徑6徑給水栓1箇アリ◎給水船ハ100噸積及30噸積揚水唧筒附發動機船各1隻、10噸積手唧筒附1隻アリ、揚水能力毎時大形船40噸、中形船30噸、小形船6噸。												
		生糧品 牛肉、鶏肉、魚類、蔬菜等ハ豊富ナリ◎魚市場ハ大規模ノモノ市内ニ2箇所アリ、又市外千代町ニ青物市場アリ市附近ノ蔬菜、果實ノ大部ハ毎朝此處ニ集ル。												
		貿易 主ナル輸出品ハ運動靴、地下足袋、小麥粉及汽罐ニシテ輸入品ハ揮發油、礦油等ナリ。												
		昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内國汽船</th> <th>外國汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>2,691</td> <td>41</td> <td>14,106</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>1,029,426</td> <td>93,214</td> <td>1,555,931</td> </tr> </tbody> </table>		内國汽船	外國汽船	船舶總計	隻 數	2,691	41	14,106	總噸數	1,029,426	93,214	1,555,931
	内國汽船	外國汽船	船舶總計											
隻 數	2,691	41	14,106											
總噸數	1,029,426	93,214	1,555,931											
		交通 遞信省命令航路ノ釜山博多直航線、九州西鮮大連線、其ノ他定期船ノ寄港スルモノ多シ、鐵道鹿兒島本線ハ當地ヲ經テ鹿兒島ニ達シ、當地ヲ起點トスルモノニ(1)博多灣鐵道ハ宮地嶽ニ(2)筑前參宮鐵道ハ勝田ニ(3)北九州鐵道ハ東唐津ヲ經テ伊萬里ニ達ス◎電車ハ市内ヲ縱横ニ貫通シ郊外電車ハ南方久留米ニ達スルモノ、西方姪濱ニ達スルモノ等アリ。												
		福岡飛行場 港奥雁ノ巢附近ニ福岡第1飛行場(水陸、公共用)、名島ノ北西方妙見島附近ニ福岡第2飛行場(水上、公共用)アリ。												
		福岡無線電信航空局 第2飛行場内ニ在リ(水路誌附録第5卷參照)。												
		福岡放送局 放送用私設無線電話局ニシテ縣廳附近ニ在リ(水路誌附録第5卷參照)。												
		港則 開港港則、開港港則施行規則等ハ水路誌附録第1卷ニ記載シアリ◎博多港荷揚場使用料條例、同施行細則、福岡市棧橋使用料條例アリ(水路誌附録第2卷參照)。												
		官憲 地方官憲、公署ノ主ナルモノハ縣廳、市役所、内務省博多港修築事務所、測候所、稅關支署(西戸崎ニ派出所アリ)、裁判所、稅務署、專賣局、1等郵便局、歩兵第12旅團司令部、聯隊區司令部、歩兵聯隊等ナリ。												

頁	行	記 事
		人口 291,158(昭和10年國勢調査)。
53	24	約200噸 ノ次ニ次ノ通追加ス 給水船ノ設備ナシ、沖合碇泊艦船ニ於テ所要ノ際ハ電話請求ニ依リ福岡市役所ニ於テ供給ス、午後ハ概ネ北西風募リ灣内相當波高マルヲ以テ清水補給ハ午前中ニ行フ可トス。
	25次	次ノ通追加ス ◎昭和6年1月21日特務艦室戸ハ黑色煙突ノ254.5度7鐘ニ投錨セシガ此ノ處ハ低潮時水深9.1米、底質泥ニシテ錨搔キ良好ナリシト謂フ。
54	欄外	海圖188,1228 ヲ追加ス
	6次	次ノ通追加ス 西浦港 西浦岬ノ南方約1哩ニ在リ北西方ニ防波堤アリ此ノ地ニ水難救濟組合アリ。
		野北浦 碓石崎ノ南方ニ在ル小漁港ニシテ水難救濟組合及地方暴風標アリ。
	11	樹木繁茂ス、 ヲ 樹木繁茂シ此ノ地方ニテハ筑紫富士ト稱ス、 ト改ム
	21	末尾ニ次ノ通追加ス 灣内ノ濱崎町淵上及佐志村唐房ニ船溜ヲ湊村ニ防沙堤ヲ築造中ナリ。
	23	筑紫富士ト稱シ ヲ削除ス
55	欄外	海圖188 ヲ追加ス
56		
55	13	末尾ニ 新町ニ郵便局アリ。 ヲ追加ス
	17	末尾ニ 船越ニ地方暴風標アリ。 ヲ追加ス
	18至19	加布里ニテハ 以下次ノ通改ム 加布里港ハ漁港ニシテ此ノ地ニ水難救濟組合アリ又加布里、深江ニ郵便局、地方暴風標アリ濱崎ニ郵便局アリ◎加布里、深江、濱崎ハ何レモ北九州鐵道ノ沿線ニ在リ清水魚類其ノ他相當ノ物資ヲ得ベク船越浦ニテハ清水及魚類ノミ辨ジ得ベシ。
	55	次ノ通改ム
56	27至	2 港ハ大島ニ通ズル臨港鐵道線路堤ニヨリ東西兩港ニ區分セラル。 西港ハ水深7米内外ニシテ前面ノ大島、相賀崎ニ依リ多少外海ヨリ遮蔽セラ ル、唐津市ノ西端妙見ノ北岸ニ築港アリ。 大島ニ至ル鐵道線路ノ中程ヨリ北西方ニ向ヒ埋立地ノ北岸ハ長サ144米ノ岸 壁ニシテ其ノ北西角ヨリ北北西方ニ長サ250米、幅55米ノ岸壁突出ス、岸壁

木
53

頁	行	記 事
		西側ハ外方110米ノ水深7.3米、内方165米ノ水深4.5米ナリ、岸壁ノ基部北西岸70米ハ物揚場ニシテ其ノ西方ニ長サ90米、幅頭部55米基部約90米ノ中央ノ岸壁アリ、其ノ東側ハ水深4.5米西側ハ長サ120米ノ物揚場ナリ水深1米ニシテ南方ノ内方船溜ニ通ズ。
		西方妙見埋立地ノ北岸東角ヨリ東南東方中央ノ岸壁北東角ニ向ヒ長サ約99米ノ船溜防波堤アリ、内部ノ水深2.1米アリ東岸ハ三菱物揚場ニシテ浮橋橋アリ。
		大島ノ南岸西部ニ大島貯炭場アリテ前面ニ數基ノ載炭棧橋アリ、臨港鐵道ハ貯炭場ノ西端ヨリ西唐津驛ニ通ズ。
		東港ハ偏北風ノトキ強浪滾入シテ大形船舶ノ碇泊ニハ不適當ナルモ淺吃水船ニ對シテハ高島、鳥島、大島ニ依リ風波ヲ遮蔽スル錨地アリ、大島ノ南岸東部ニハ大島船溜及防波堤アリ、又和船ハ概ネ松浦川河口内ニ繫泊ス。
		松浦川河口東角突堤端ニ長サ80米ノ防波堤アリ、河口内南西岸ヲ埋立テ其ノ西端田川ノ右岸ニ導水堤其ノ東側ニ繫船場アリ。
		燈竿 船溜防波堤外端ニ在リ、鐵塔ニシテ燈高6米。
56	6至8	削除ス
57	欄外	海圖188, 1228 ヲ追加ス
	8	末尾ニ 佐志ニ郵便局アリ。 ヲ追加ス
	8次	次ノ通追加ス
		昭和9年6月農林省所屬船初錨丸ノ報告ニ依レバ大島西側錨地ニ於テハ成ルベク大島ニ接近スルヲ荷役及交通上至便ナリトス大島樹頂ノ約245度水深7—10米ノ處ハ底質泥沙ニシテ錨搔キ良好ナリ 双錨泊ヲ爲セバ北東風強キトキモ安全ナリト謂フ◎神集島及相賀崎ノ南東岸附近ニハ漁網ヲ碇置スルコトアリ其ノ外端ニハ赤旗及紅燈ヲ附シ以テ之ヲ表示スルモ屢流失消燈スルコトアリト謂フ。
	18至19	278度 以下 5鐘 迄ヲ次ノ通改ム 船尾ニ保チ278度ニ進メバ神集島ノ北方約4.5鐘
	24	276度5分 ヲ 273.5度 ト改ム
58	欄外	海圖188 ヲ追加ス
	3	燈光 ノ次ニ 及妙見山ノ北東方ニ在ル木柱上ノ不動白光燈 ヲ追加ス
	18至27	* 次ノ通改ム
		貿易 主ナル輸出品ハ石炭ニシテ輸入品ハ鹽、石炭、飼料等ナリ。

頁	行	記 事												
		昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内國汽船</th> <th>外國汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>2,896</td> <td>95</td> <td>5,592</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>522,820</td> <td>187,738</td> <td>782,827</td> </tr> </tbody> </table>		内國汽船	外國汽船	船舶總計	隻數	2,896	95	5,592	總噸數	522,820	187,738	782,827
	内國汽船	外國汽船	船舶總計											
隻數	2,896	95	5,592											
總噸數	522,820	187,738	782,827											
		交通 長崎縣及佐賀縣命令航路、長崎壹岐對馬釜山線及九州西鮮大連線、自營航路、大坂濟州島仁川線ノ汽船寄港ス。												
		省線唐津線ノ終點ニシテ唐津及西唐津驛アリ、福岡市ニ至ル北九州鐵道ノ東唐津驛アリ同驛ヨリ呼子及武雄方面ニ至ル乗合自動車アリ。												
		水先 唐津市西唐津ニ水先事務所アリ、佐賀縣唐津港内水先事務所宛無線電報ニ依リ要請ニ應ズ水先人ハ神集島沖合ニ於テ乗船ス、免許水先人ニ非ザルモ港内諸事情ニ精通ス。												
59	欄外	海圖188, 1228 ヲ追加ス												
	1	第1卷 ヲ 第1卷及第2卷 ト改ム												
	4	町役場 ヲ 市役所、稅務署 ト改ム												
	5	* 人口 唐津市ノ人口31,058(昭和10年國勢調査)。 ト改ム												
	9至13	次ノ通改ム												
		烏帽子燈臺 烏帽子島上ニ在リ、白塗八角形鐵造塔、燈高56米。												
		人工漁礁 烏帽子島燈臺ヨリ97度15分4.2哩(概位北緯33度41分東經130度4分)ニ人工漁礁アリ、礁上水深35米。												
60	欄外	海圖188 ヲ追加ス												
	8	ヲ經テ ヲ 及 ト改ム												
61	欄外	海圖195 ヲ追加ス												
61	1	名護屋浦トス ノ次ニ次ノ通追加ス												
		兩地共郵便局アリ又呼子ニ稅關監視署アリ												
	27次	次ノ通追加ス												
		港則 佐賀縣港灣取締規則アリ(水路誌附錄第2卷參照)。												
62	17	36分 ヲ削除ス												
63	欄外	海圖1228 ヲ追加ス												
	2	ヨリ355度36分 ヲ ノ北方 ト改ム												
64	欄外	海圖195 ヲ追加ス												
	10	ニ足ルノミ ノ次ニ 目下船溜築造中ナリ ヲ追加ス												
65	欄外	海圖186 ヲ追加ス												

木
53

頁	記	事									
65	11次	次ノ通追加ス 港則 佐賀縣港灣取締規則アリ（水路誌附録第2卷参照）。									
	15	96度 以下ヲ次ノ通改ム 約96度ノ針路ヲ採リ、宮崎東端ヲ約131度ニ望マ									
	17	4分 ヲ削除ス									
	21至22	158度 以下 中央 迄ヲ 約160度ニ採リテ高岩鼻ノ孤立松 ト改ム									
67	4次	次ノ通追加ス 島ノ南西端ニ在ル船唐津浦ニ目下船溜築造中ナリ。									
	13	39分 ヲ削除ス									
68	16次	次ノ通追加ス 高串港 日比水道南口東側ニ在ル漁港ニシテ目下修築中ナリ、高串ニ郵便局及地方暴風標アリ。									
69	網外	海圖166,186 ヲ追加ス									
	7	39分 ヲ 40分 ト改ム									
	15次	次ノ通追加ス 津崎燈竿 津崎南東方山腹ニ在リ、高サ9.1米ノ電柱ニシテ燈高46米 ◎夜間津崎水道通過ノ際好目標ト爲ル。									
	28	諸風ヲ避ケ得ベシ ノ次ニ 目下船溜築造中ナリ ヲ追加ス									
70	8至9	* 志佐ハ人口 以下 郵便局アリ 迄ヲ次ノ通改ム 志佐町ハ人口3,538（昭和10年國勢調査）ヲ有シ町役場、郵便局及警察署等アリ◎省線有田伊萬里線ハ伊萬里ヨリ楠久今福ヲ經テ志佐ニ達ス									
	24	立デテ ヲ 立テテ ト改ム									
	28	好鑛地ナリ ノ次ニ 農林省指定漁港ニシテ目下港灣修築中ナリ ヲ追加ス									
71	3至4	灣奥 以下ヲ削除ス									
	4次	* 次ノ通追加ス 今福港 漁港ニシテ目下修築中ナリ、今福町ハ人口4,067（昭和10年國勢調査）郵便局及地方暴風標アリ。									
		移出入 主ナル移出品ハ雜貨ニシテ移入品ハ製造煙草及織物等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>1,080</td> <td>4,632</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>21,600</td> <td>35,412</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻數	1,080	4,632	總噸數	21,600	35,412
	汽船	船舶總計									
隻數	1,080	4,632									
總噸數	21,600	35,412									

頁	記	事									
72	18	末尾ニ 漁港ニシテ目下港灣修築中ナリ。 ヲ追加ス									
73	1	41分 ヲ 40分 ト改ム									
	3	153度41分 ヲ 142度 ト改ム									
	5	93度41分 ヲ 94度 ト改ム									
	7至8	5分 ヲ削除ス									
	9	146度41分 ヲ 147度 ト改ム									
	12	110度41分 ヲ 111度 ト改ム									
	14	93度41分 ヲ 94度 ト改ム									
	17	灣首ニ楠久村アリ、伊萬里灣ニ ヲ次ノ通改ム 灣首ノ楠久村ハ目下船溜築造中ニシテ伊萬里港ニ									
73 74	24 2	* 次ノ通改ム 移出入 主ナル移出品ハ石炭、陶磁器、和酒等ニシテ移入品ハ鮮魚介、乾魚、礦油等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>9,587</td> <td>10,863</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>227,561</td> <td>255,252</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻數	9,587	10,863	總噸數	227,561	255,252
	汽船	船舶總計									
隻數	9,587	10,863									
總噸數	227,561	255,252									
74	網外	海圖1228 ヲ追加ス									
	3	第1卷 ヲ 第2卷 ト改ム									
	4至5	* 人口 以下ヲ次ノ通改ム 人口8,807（昭和10年國勢調査）大半ハ陶工ヲ業トス、町役場、警察署、税關監視署等アリ。									
	21	陽岳（オ） ヲ 男岳（オン）（陽岳） ト改ム									
	22	津ノ神山 ヲ 津上山（津ノ神山） ト改ム									
	23至24	郷野浦 ヲ 郷ノ浦港（郷野浦） ト改ム									
	24	勝本浦 ヲ 勝本港（勝本浦） ト改ム									
	25	39,373 ヲ 40,220 ト改ム 大正14年 ヲ 昭和5年 ト改ム									
	2	江豚鼻 ヲ 海豚崎 ト改ム									
	4	江豚鼻（イルカ） ヲ 海豚崎（江豚鼻） ト改ム									
	5	此ノ鼻 ヲ 此ノ崎（2箇所） ト改ム									
	9	郷野浦 ヲ 郷ノ浦港（郷野浦） ト改ム									
	8,9	郷野浦 ヲ 郷ノ浦港 ト改ム									

木
53

頁	行	記 事
75	12	坪浦口 ヲ 坪觸口 ト改ム
	13, 17, 18, 22	郷野浦 ヲ 郷ノ浦港 ト改ム
76	6	265度32分 ヲ 265.5度 ト改ム
77	1, 17, 20	郷野浦 ヲ 郷ノ浦港 ト改ム
	7, 8	江豚鼻 ヲ 海豚崎 ト改ム
	7	郷野浦 ヲ 郷ノ瀬 ト改ム
	8	津ノ神山 ヲ 津上山 ト改ム
	9次	* 次ノ通追加ス
		移出入 主ナル移出品ハ牛、大豆、繭等ニシテ移入品ハ織物及酒等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
		汽船 船舶總計
		隻 數 770 2,080
		總噸數 193,360 200,629
10		武生水町 ノ次ニ (ムシャウヅ)(郷野浦) ヲ追加シ 大邑ノ一 ヲ 首邑 ト改ム
11		* 4,042(大正14年國勢調査) ヲ 4,542(昭和10年國勢調査) ト改ム
13至15		町役場 以下ヲ次ノ通改ム 町役場、郵便局、警察署、稅務署、要塞司令部、築城部支部、中學校、女學校等アリ
		交通 遞信省命令航路長崎壹岐對馬釜山線ノ定期船寄港ス。
16		呼子間 ノ次ニ 2條 ヲ追加シ ノ水底電線各4條 ヲ 3條ノ水底電線 ト改ム
17		ノ西側ニ於テ ノ次ニ次ノ通追加ス 又壹岐島ト肥前呼子間ノ1條ハ印通寺浦ニ於テ
24, 25		黒島 ヲ 黒ケ島 ト改ム
28		勝本浦 ヲ 勝本港 (勝本浦) ト改メ 名鳥巢 ヲ 名鳥 ト改ム
78	2	末尾ニ 繫船浮標1箇アリ、1,500噸級汽船用ニシテ私設ナリ、又小敷防波 堤アリ、船溜ハ目下築造中ナリ。
	3, 9	名鳥巢 ヲ 名鳥 ト改ム
	5	* 郵便局アリ 迄ヲ次ノ通改ム 勝本町ハ壹岐島ニ於ケル大邑ノ一ニシテ人口6,575(昭和10年國勢調査) 郵 便局及稅關監視所アリ

頁	行	記 事
78	6	郷野浦 ヲ 郷ノ浦港 ト改ム
	6次	* 次ノ通追加ス
		移出入 主ナル移出品ハ鮮魚介ニシテ移入品ハ鮮魚介、礦油等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
		汽船 船舶總計
		隻 數 320 1,260
		總噸數 130,000 180,400
		水底電線 若宮島至鳥屋鼻間及串山至名鳥島間ニ敷設シアリ。
	8	名鳥巢島 ヲ 名鳥島(名鳥巢島) ト改メ 勝本浦 ヲ 勝本港 ト改ム
	17至19	次ノ通追加ス
		若宮燈臺 (ニヤク) 若宮島ノ北端ニ在リ、白塗八角形石造、燈高105 米。
	26	大浪瀆入ス ノ次ニ 目下船溜築造中ナリ ヲ追加ス
	27	* 末尾ニ次ノ通追加ス
		蘆邊ハ田河村ニ屬ス、田河村ハ人口5,436(昭和10年國勢調査)。
	28	* 次ノ通改ム
		移出入 主ナル移出品ハ鮮魚介、魚糟等ニシテ移入品ハ礦油、製綿等ナ リ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
		汽船 船舶總計
		隻 數 240 4,954
		總噸數 318,000 428,540
		交通 命令航路ノ寄港船ハ郷ノ浦ニ同ジ。
	79	建設ニ係リ ヲ 建設ニ係ル ト改ム
	12	南嶼ヲ 以下 ト曰ヒ 迄ヲ次ノ通改ム 中央ヲ本島(前島)、北東嶼ヲ鯨島、南西嶼ヲ前島(女龜島)ト謂ヒ
	14, 15	女龜島 ヲ 前島 ト改ム
	21	江豚鼻 ヲ 海豚崎 ト改ム
	23, 26	妻島 ヲ 妻ケ島(妻島) ト改ム
	24	郵便局 ノ次ニ 地方暴風標 ヲ追加ス
80	欄外	海圖177 ヲ 海圖180, 173 ト改ム
	10	平 ヲ 平方 ト改ム

木
53

頁	行	記 事									
80	25	* 55,049 (大正14年國勢調査) ヲ 56,137 (昭和10年國勢調査) ト改ム									
81	欄外	海圖1213 ヲ追加ス									
	10	郵便局 ノ次ニ 税關監視署 ヲ追加ス									
	18至20	次ノ通改ム									
		豆岐崎燈臺 豆岐崎ノ南方大瀬ニ在リ、白色圓形「コンクリート」造、燈高21米。									
	23	91度 ヲ 92度 ト改ム									
82	20	末尾ニ次ノ通追加ス 白磯ノ鼻海岸地先ニ防波堤アリ。									
	24	末尾ニ次ノ通追加ス ◎四季ヲ通ジテ偏北風多シ、港ノ周圍ハ山高キヲ以テ吹下シト爲リ港内ハ天候好キ日ニテモ相當風強ク連吹スルコトアルモ水面ハ小波ヲ湛フルノミニシテ靜穩ナルヲ例トス。									
83	2	末尾ニ次ノ通追加ス ◎昭和5年7月颶逐艦疾風ハ耶良崎燈竿ノ261.5度600米水深14.6米底質沙泥ノ處ニ碇泊セリ。									
	8	針路ヲ取り、迄ヲ次ノ通改ム 頂ヲ330度以上ニ望ムベカラズ、									
	10	紅塗 ヲ 白塗 ト改ム									
	22次	次ノ通改ム									
		目標 耶良崎燈竿及導燈ハ何レモ白塗木竿ニシテ周圍ノ樹木鬱葱タル爲晝間目標トシテハ明瞭ナラズ、港口ヲ判知スルニハ支廳北東方高地ニ立テル嚴原無線航空局ノ櫓形無線電信柱ヲ利用スルヲ適當トス。									
		針路法 東方ヨリ入港スルトキハ丸隅山頂ヲ274度ニ保テツツ港口ニ達シ鶴翼山頂ト志賀鼻西方突角トヲ一線ニ望ムトキ之ニ向ツテ進メバ港ノ中央錨地ニ就クコトヲ得。									
84	3至22	* 次ノ通改ム									
		移出入 主ナル移出品ハ乾魚、鮮魚介等ニシテ移入品ハ鹽、朝鮮米等ナリ。昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>1,010</td> <td>6,098</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>196,356</td> <td>255,145</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻數	1,010	6,098	總噸數	196,356	255,145
	汽船	船舶總計									
隻數	1,010	6,098									
總噸數	196,356	255,145									

頁	行	記 事
		交通 長崎縣命令航路ノ長崎壹岐對馬釜山線ノ汽船下記ノ通寄港ス。郷ノ浦、勝本、嚴原、佐賀、小鹿、琴、比田勝、佐須奈、寄港地ハ航海ノ都合ニ依リ異動スルコトアルベシ。鷓知、竹敷ニハ定期自動車ノ便アリ、大船越ニハ自動車通ズルモ定期ニハ非ズ。
		嚴原無線電信航空局 嚴原町東里字立石ニ在リ、對手局ハ福岡、蔚山トス (水路誌附録第5卷參照)。
84	27	* 9,532 (大正14年國勢調査) ヲ 9,431 (昭和10年國勢調査) ト改ム
	28	次ノ通改ム
		察署、營林署、稅務署、郵便局、無線航空局、稅關支署、專賣局出張所、測候所、憲兵分駐所、築城部支部、縣立病院、中學校、女學校等アリ。
85	9	北東 ヲ 南東 ト改ム
	11	344度8分 ヲ 345度 ト改ム
	12	陸頭ニシテ高斷崖 ヲ 高角ニシテ斷崖 ト改ム
86	1,18	分圖 ヲ削除ス
	9	次ノ通改ム
		鷓知ニ郵便局、要塞司令部、重砲兵大隊、衛戍病院等アリ又地方暴風標アリ。
	10	勝見浦ト ヲ削除ス
	25	末尾ニ ◎目下船溜築造中ナリ。 ヲ追加ス
88	1	灣首ニ佐賀村アリ、 ヲ次ノ通改ム
		灣首ノ佐賀村ニ郵便局アリ、長崎縣命令航路ノ長崎壹岐對馬釜山線ヲ航スル汽船寄港ス。
89	16	往復共當地ニ寄港ス 迄ヲ 定期船ノ寄港ハ佐賀灣ニ同ジ ト改ム
90	1	削除ス
	6	末尾ニ 地方暴風標アリ又定期船ノ寄港ハ佐賀灣ニ同ジ。 ヲ追加ス
	20	176 ヲ 175 ト改ム
91	25次	* 次ノ通追加ス
		比田勝港 西泊灣首ニ在リ、豐崎村ニ屬ス、村役場、郵便局、地方暴風標アリ、豐崎村ノ人口4,778 (昭和10年國勢調査)◎長崎縣命令航路ノ長崎壹岐對馬釜山線ノ汽船寄港ス。
		移出入 主ナル移出品ハ鮮魚ニシテ移入品ハ和酒、米等ナリ。昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。

水
53

頁	行	記	事
			汽船 船舶總計
		隻數	3,700 22,330
		總噸數	446,152 765,572
92	1至2	削除ス	
	2次	次ノ通追加ス	
		燈	西泊灣雷埼ニ燈竿アリ、燈高20米◎比田勝ノ北東方約250米ノ山腹ニ1組ノ導燈アリ。
93至95	欄外	海圖1214	ヲ追加ス
93	23	數多ノ露岩ヨリ成ル	ヲ次ノ通改ム
		附近一帯ノ礁脈ヲ南風ノ波瀾(ハエノハセ)ト謂ヒ、露出岩ヲ大島列岩ト謂フ。	
95	7次	* 次ノ通追加ス	
		水底電線	鰐浦村落北方海岸ヨリ海栗島ニ至ル水底電線1條アリ。
	19次	次ノ通追加ス	
		水底電線	大河内灣至佐護灣間ニ水底電線1條アリ、陸揚地ニ標柱設置シアリ。
96	6	末尾ニ	目下港内ノ一部埋立工事中ナリ。ヲ追加ス
	17次	* 次ノ通追加ス	
		移出入	主ナル移出品ハ海産物ニシテ移入品ハ和酒、砂糖等ナリ。昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
			汽船 船舶總計
		隻數	599 12,784
		總噸數	92,830 296,910
	18	釜山線	以下ヲ次ノ通改ム
		壹岐對馬釜山線ヲ航スル汽船當地ニ入港ス、	
	20	* 戶數200餘	以下ヲ次ノ通改ム
		人口3,536(昭和10年國勢調査)、村役場、郵便局、警察署、税關監視署等アリ又地方暴風標アリ。	
97	欄外	海圖1215	ヲ追加ス
	8次	次ノ通追加ス	
		水底電線	佐護灣至大河内灣間ニ水底電線1條アリ、陸揚地ニ標柱設置シアリ。

頁	行	記	事
97	20	陸頭	ヲ高角ト改ム
	27	仁田	ノ次ニ村ヲ追加ス
98	欄外	海圖1215	ヲ追加ス
	11	176	ヲ1215ト改ム
	19	御前埼	ノ次ニ(海圖176)ヲ追加ス
99	27	* 其ノ北東端	以下ヲ削除ス。
100	1	* 其ノ北側ニ	以下ヲ削除ス
	8次	次ノ通追加ス	
		棚木附近至朝鮮南岸甘來浦沒水浦末北東方海岸間ニ水底電線1條アリ、棚木陸揚地ヨリ沖合1哩迄線條ノ左右各50米以内其ノ外方ハ線條ノ左右各300米以内ヲ線路區域トス。	
	17	末尾ニ	尾崎ニ郵便局アリ。ヲ追加ス
	25至26	* 其ノ南東側	以下ヲ削除ス
103至107	欄外	海圖165	ヲ追加ス
104	21	ニ水底電線	ヲ次ノ通改ム
		及的山浦ト度島曲埼北方海岸トノ間ニ水底電線各	
105	18	末尾ニ	島内ニ郵便局アリ。ヲ追加ス
	21次	次ノ通追加ス	
		水底電線	度島曲埼北方海岸トの山大島の山浦及平戸島西田ノ浦トノ間ニ各1條ノ水底電線アリ、度島陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合650米迄ハ線條ノ左右各30米以内、其ノ外方ハ各200米以内ヲ以テ線路區域トス。
106	10	末尾ニ	次ノ通追加ス
		一部浦及館浦ニ郵便局アリ。	
	11次	次ノ通改ム	
		生月港	一部浦ニ在リ、港内修築中ナリ。
	12至13	生月島東岸	以下ヲ次ノ通改ム
		南部山見崎至平戸島北西岸主師免字小水間ニ水底電線1條アリ、山見崎陸揚地ヨリ沖合800米迄ハ線條ノ左右各45米以内、其ノ外方ハ線條ノ左右各200米以内ヲ線路區域トス。	
108	欄外	海圖165, 193	ヲ追加ス
109			
108	5次	次ノ通追加ス	
		水底電線	加戸島ノ東方西田ノ浦ヨリ度島曲埼北方海岸ニ至ル水底電線

木
53

頁	行	記 事
110	欄外 5次	1 條アリ、西田ノ浦陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合 650 米迄ハ線條ノ左右各 30 米以内、其ノ外方ハ各 200 米以内ヲ以テ線路區域トス。 海圖 165 ヲ追加ス 次ノ通追加ス 水底電線 平戸島北西岸主師免字小水至生月島東岸山見崎間ニ水底電線 1 條アリ、小水陸揚地ヨリ沖合 400 米迄ハ線條ノ左右各 30 米以内其ノ外方ハ線條ノ左右各 200 米以内ヲ線路區域トス。
111	26	強瀉滾入ス ノ次ニ 目下港灣修築中ナリ ヲ追加ス
112	4	頭 ノ次ニ ノ ヲ追加ス
	20	末尾ニ次ノ通追加ス 浦首ノ紐差ニ郵便局アリ。
113	欄外 10	海圖 165, 193 ヲ追加ス 強電電流線 ヲ 高壓電線 ト改ム
	12至13	平戸町字岩ノ上 以下ヲ次ノ通改ム (1) 架空線ノ南方海面ノ水底電線區域内ニ 2 條ノ水底電線アリ。 (2) 南龍崎ト日ノ浦トノ間ニ水底電線アリ。 (3) 山姥崎南方約 100 米ト波戸崎南東方約 420 米トノ間ニ水底電線アリ、陸揚地ニ三角形頭標附標柱アリ。
	20	末尾ニ次ノ通追加ス ◎港内北側海岸ニ浮棧橋 1 基アリ、西側海岸ハ埋立中ニシテ港内ノ一部ハ水深 1—2 米ニ浚渫中ナリ。
	21至22	* 人口 以下 地方暴風標アリ 迄ヲ次ノ通改ム 人口 12,989 (昭和 10 年國勢調査) ニシテ町役場、郵便局、警察署、税關監視署等アリ。
	24次	* 次ノ通追加ス 移出入 主ナル移出品ハ煙草、魚類雜詰、魚油、鮮魚等ニシテ移入品ハ煙草、絹及綿織物、石油、木材、石炭等ナリ。 昭和 9 年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
		汽船 船舶總計 隻 數 26,917 46,489 總噸數 956,121 1,200,741
		常燈ノ鼻燈竿 平戸電燈製氷株式會社棧橋上ニ在リ高サ 7.6 米ノ電柱、

頁	行	記 事
		燈高 12 米。
113	27	一陸頭 ヲ 獅子駒崎 ト改ム
114	欄外	海圖 193 ヲ追加ス
115		
114	8	末尾ニ ◎田助ニ郵便局アリ。 ヲ追加ス
	9至11	次ノ通改ム 燈明崎燈竿 田助港東岸魚見崎ノ南西方 1.2 鐘ノ角端ニ在リ、燈高 9.1 米。
116	欄外	海圖 193, 165 ヲ追加ス
	8	209 度 27 分 ヲ 約 209 度 ト改ム
	11	12 分 ヲ削除ス
	18至19	ヨリ 以下ヲ次ノ通改ム ヲ通ジテ白濱浦人家ヲ 1 軒タリトモ認ムルヲ得バ已ニ之ヲ離レ居ルノ證ナリト。
	28次	次ノ通追加ス 沈船 平戸瀬戸岬崎東方約 1.2 鐘ノ處ニ於テ昭和 4 年沈没セル汽船ノ船體ハ其ノ後大部分ヲ解體シ現在海底ニハ船底及外板ノ一部ヲ残留ス、但シ船舶ノ通航ニハ支障ナシト謂フ。
117	欄外	海圖 193 ヲ追加ス
118		
117	16	陸頭 ヲ削除ス
118	11次	次ノ通追加ス 波戸崎南東方約 420 米ノ海岸ト對岸山姥崎南方約 100 米トノ間ニ水底電線 1 條アリ陸揚地ニハ 4 基ノ三角形頭標附標柱設置シアリ。
	13	末尾ニ次ノ通追加ス 日ノ浦ニ郵便局アリ。
	15	次ノ通改ム 日ノ浦至對岸南龍崎ノ西方海岸間ニ水底電線 1 條アリ◎其ノ南方海岸ト對岸南龍崎トニ在ル鐵塔間ニ高壓電線アリ、尙其ノ南方海面ニ在ル水底電線區域内ニ 2 條ノ水底電線アリ。
120	1	52 度 ヲ 48 度 ト改ム
	9	頸地ヲ以テ島ノ本部 ヲ 地頸ニ依ツテ島ノ主部 ト改ム
	10	末尾ニ次ノ通追加ス ◎黒島南端ヨリ南方ニ三角形ヲ成セル障物沈置區域アリ◎島内ニ郵便局アリ

木
53

頁	行	記 事									
120	28次	<p>リ。</p> <p>* 次ノ通追加ス</p> <p>相ノ浦港 目下港灣修築中ナリ◎相ノ浦町ハ人口 14,606 (昭和10年國勢調査)ヲ有シ町役場、郵便局及警察署等アリ◎北九州商船會社ノ大連航路汽船其ノ他近海航路ノ定期發動機船寄港ス、又佐世保鐵道ハ當地ヨリ上佐世保、柚木及佐々等ニ至ル、其ノ他佐世保ニハ定期自動車便アリ。</p> <p>移出入 移出品ノ主ナルモノハ石炭、鮮魚等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ石炭、鮮魚、空罐、木材、酒精等ナリ。</p> <p>昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>2,488</td> <td>8,493</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>995,200</td> <td>1,039,846</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	2,488	8,493	總噸數	995,200	1,039,846
	汽船	船舶總計									
隻 數	2,488	8,493									
總噸數	995,200	1,039,846									
122	2次	<p>* 次ノ通追加ス</p> <p>水底電線 佐世保港第3區向後崎ヨリ港外御床島、大立島ヲ經テ江ノ島ニ至ル水底電線1條アリ、線路區域向後崎陸揚地ヨリ線路ニ沿ヒ沖合1,000米迄ハ線條ノ左右各100米以內、這崎(御床島)、大立島及上河原辻(江ノ島)ノ各陸揚地ヨリ線路ニ沿ヒ沖合500米迄ハ線條ノ左右各100米以內、其ノ他ハ線路ノ左右各500米以內トス。</p> <p>26 大村灣口 ヲ 佐世保港口 ト改ム</p> <p>28 大村灣口 ヲ 佐世保灣口 ト改ム</p>									
123	欄外	<p>海圖 213 ヲ追加ス</p> <p>1 大村灣 ヲ 佐世保港 ト改ム</p>									
123 124	4 11至	<p>* 次ノ通改ム</p> <p>中ノ楯懸 佐世保港口ノ北角向後崎ノ北々西方約9鏈ニ在リ、其ノ西側ニ紅黒横線塗圓錐形鐵造浮標ヲ碇置シ之ヲ標示ス。</p> <p>沖大ソネ 中ノ楯懸ノ北西方約9鏈ニ在ル水深18米堆ニシテ北西—南東ノ長サ約0.7鏈、周圍ノ水深21—27米アリ。</p> <p>洗出シノ瀬 向後崎ヨリ201度7分4.4鏈ニ於テ航路ノ中央ニ位セル淺瀬ニシテ、岩上水深10.9米少シク離ルレバ30米ヨリ深シ。</p> <p>向後崎燈竿 向後崎上ニ在リ、白塗槽形鐵造ニシテ燈高82米。</p> <p>佐世保軍港 海圖上斷線ヲ以テ示ス第3區外方境界以內ヲ軍港境域トス。</p>									

頁	行	記 事
		<p>佐世保港口ハ向後崎ト水尻鼻トノ間ニ在リテ南西方ニ開キ幅約4.5鏈水深50米内外ニシテ、其ノ前面ノ洗出シノ瀬ヲ除ケバ安全無礙ニシテ船舶ノ出入極メテ容易ナリ。</p> <p>向後崎ノ北東側ニ俵ノ浦アリ其レヨリ東方1.7湮ニ庵崎アリ、庵崎ト百間鼻トノ間隔1湮北方へ灣入スルコト約2.8湮ナリ、之ヨリ西濱ハ岸線ノ屈曲少ク概テ急深ナルモ東濱ハ岸線ノ屈曲甚シク巨濱約1—2鏈ノ處迄岩礁沿布ス◎港内ハ幅0.5—1.3湮水深7—12米、泥底ニシテ錨搔キ善ク、南方ヲ除ク外悉ク高陸ニ包マレ殆ド各方ノ風ヲ障屏ス◎港ノ中央ニ丸瀬ト稱スル岩嶼アリ。</p> <p>港ノ北岸ニ鎮守府及之ニ屬スル諸廳アリ◎港首東側ニ佐世保市アリ人口173,283(昭和10年國勢調査)ヲ有シ海軍官憲ノ外、市役所、郵便局、警察署、稅務署、稅關監視署、要塞司令部、重砲兵大隊、憲兵分隊等アリ。</p> <p>本港ニ入港セントスル船舶ハ軍港要港規則及佐世保軍港細則ヲ遵守セザルベカラズ(水路誌附錄第1卷參照)。</p> <p>氣象 卷末ニ附セル氣象表ハ佐世保鎮守府氣象觀測所ニ於テ30箇年(明治27年至大正12年)觀測ノ平均ナリ。</p> <p>針尾島 佐世保港ト大村灣トノ間ニ介在スル大島ニシテ南北ノ長サ5.3湮最大幅3湮ナリ、島ノ北側及東側ハ早岐瀬戸ヲ以テ南西側ハ針尾瀬戸ヲ以テ本陸ト相隔ツ。</p> <p>早岐瀬戸及針尾瀬戸 共ニ佐世保港ト大村灣トノ通路ヲ成セドモ、早岐瀬戸ハ狹隘ニシテ水淺ク小舟ヲ通ズルニ過ギズ、針尾瀬戸ハ水深シト雖幅僅ニ1鏈強ニシテ屈曲甚シク加フルニ潮流強烈ナルガ故ニ大形船舶ハ進入スルコト能ハズ◎針尾瀬戸北口ノ北方約2湮ニ水深2.2米ノ點礁アリ其ノ南方約2鏈ニ水深1.8米ノ點礁アリ海老ガゾネト謂フ、海老ガゾネノ南東方2.5鏈ニハ水深5.4米ノ點礁アリ。</p> <p>水底電線 針尾瀬戸北口ニ水底電線アリ。</p> <p>大村灣(海圖213) 西彼杵半島ト肥前本陸トノ間ニ於テ針尾島以南ニ在ル一大灣ニシテ南北ノ長サ14湮、東西ノ幅10.5湮、水深12—23米アリテ錨地ニ富ム、大村町ノ北西方2.5湮ノ海岸ニ大村海軍航空隊アリ。</p> <p>124 17, 22 * 白瀬燈臺 ヲ 面高白瀬燈臺 ト改ム</p> <p>24至27 次ノ通改ム</p> <p>面高白瀬燈臺 白瀬上ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造、燈高15米。</p>

水
53

頁	行	記	事
124 125	28 1至	248度52分ニ保視シテ進メバ	ヲ 250.5度ニ見通ス線ハ ト改ム
125	2至3	次ノ通改ム	一線294.5度ニ見通ス線ハ中ノ瀬ノ北方ニ導キ、又高帆山中ノ島西端トヲ 一線183度ニ見通ス線ハ中ノ瀬ノ東方ニ導ク。
14至15		中浦 以下ヲ次ノ通改ム	小濱附近海岸及多以良村高帆山南西方附近海岸トノ間ニ水底電線各1條アリ。
16至17		* 次ノ通改ム	崎戸港 (蠣浦港) (海圖 1230) 蠣ノ浦島西側ノ深入浦ニシテ御床島ノ 北西端ト蠣浦島ノ北西端トヲ連スル線ヲ港界トシ又無田島ノ南端ヨリ菅牟田 浦ノ東角ニ引キタル一線以內ヲ内港トス、近時九州炭礦汽船會社ハ港灣設備 ノ改善ニ努メタル爲九州ニ於ケル有數ノ石炭積出港ト爲レリ。
18		8時18分 以下ヲ次ノ通改ム	8時6分、大潮升3.0米、小潮升2.2米、平均水面1.7米。
19至21		次ノ通改ム	錨地 内港ハ狹隘ニシテ僅ニ3,000噸級ノ船舶3隻ヲ同時ニ碇泊セシメ 得ルニ過ギズ、若シ外港ニ假泊スルトキハ晝夜共「フツノ」浦導燈ノ一線上 ニ投錨スルヲ可トス、外港ハ北西ニ開キ居ルヲ以テ冬期假泊船ハ芋島(妹 島)方面ノ錨地ヲ採用スルモノ多シ、但シ芋島方面ノ錨地ニ於テハ加瀬浦 〔西ヶ瀬浦〕北東側突角及孫次郎鼻附近ヨリ南東方ニ向ヒ「オキシ」網ト稱ス ル長サ約800米ノ大漁網ヲ投下シアリテ毎年8月ヨリ翌年6月迄晝夜漁撈シ 夜間ト雖モ點火セザルヲ以テ注意ヲ要スト謂フ。 水先人ノ言ニ依レバ夜間假泊ノ際ハ蠣ノ浦島南西部ノ赤色大煙突(高サ98 米)ヲ132度ニ見テ航進シ「フツノ」浦導燈ヲ一線ニ見テ投錨スルヲ可トス、 此ノ地點ハ御床ノ鼻ト鶴崎トヲ結ブ線上ニ在リテ水深26米底質沙ナリ、10 月頃ノ季節ニハ尙東方ニ偏シテ假泊スルヲ可トスベシ、冬季北西風強吹スル トキハ成ルバク黎明後港外ニ達スルヲ可トス、夜間ハ緊急ノ場合ヲ除キ内港 ニ入港スルコトヲ禁ゼラル、上記錨地附近落潮時南西流強キヲ以テ注意スル ヲ要ス○内港ハ狹隘ナルヲ以テ緊泊ニハ水先人ヲ要スト謂フ。
24		高3.1米 以下ヲ次ノ通改ム	高サ3米大落ハ47度59分6.1
25次		* 次ノ通追加ス	高尻礁ノ西方約8鏈御床島ノ北東ニ當リ最小水深0.1米ノ淺岩アリ「ヘタノ

頁	行	記	事
		ゴ-リュ-」ト謂フ、此ノ礁ヨリ北西方2鏈ニ水深7米ノ淺礁アリ「沖ノゴ- リュ-」ト稱ス、又折瀬ノ鼻ノ南方150米ニ干出0.1米ノ岩アリ「ヘタノ舵 掛」ト稱ス、該干出岩ノ南方更ニ約1鏈ニ最小水深0.7米ノ礁アリ「沖ノ舵 掛」ト謂フ、折瀬ノ鼻ヨリ此ノ礁迄礁脈連互ス。	
		崎戸港導燈 崎戸港ニ上記ノ如キ各3箇ヨリ成ル2組ノ導燈アリ(村 立)。	
		「フツノ」浦導燈	
		前燈 塗裝セザル木柱頂上ニ白色ノ三角角標ヲ戴ク、燈高28米。	
		中燈 前燈ヨリ74.6米○燈高38米、其ノ他前燈ニ同ジ。	
		後燈 前燈ヨリ228.6米○燈高54米、其ノ他前燈ニ同ジ。	
		本導燈ハ3燈一線102度ニシテ船舶出入ノ際隨時點燈ス。	
		蠣ノ浦導燈	
		前燈 塗裝セザル木柱頂上ニ白色ノ三角形標ヲ戴ク、燈高15米。	
		中燈 前燈ヨリ約50米○燈高27米、其ノ他前燈ニ同ジ。	
		後燈 前燈ヨリ約80米○燈高30米、其ノ他前燈ニ同ジ。	
		本導燈ハ3燈一線44度ナリ。	
125 126	26 6至	次ノ通改ム	崎戸港挂燈浮標 第1號ヨリ第4號ニ至ル4箇ノ挂燈浮標アリ。 第1號 蠣浦導燈線ノ北西側外方ニ在リ、黒塗鐵造圓筒形、上部ニ格子製 樽ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ、燈高水面上2.3米。 第2號 蠣浦導燈線ノ南東側外方ニ在リ、紅塗鐵造圓筒形、上部ニ格子製 樽ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ、燈高水面上2.5米。 第3號 蠣浦導燈線ノ北西側内方ニ在リ、黒塗鐵造圓錐形ニシテ上部ニ格 子製樽ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ其ノ他第1號挂燈浮標ニ同ジ。 第4號 蠣浦導燈線ノ南東側内方ニ在リ、紅塗鐵造圓錐形ニシテ上部ニ格 子製樽ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ其ノ他第2號挂燈浮標ニ同ジ。 本挂燈浮標ハ船舶出入ノ際隨時點燈ス。
126	7		大煙突(高95米)アリ、ヲ次ノ通改ム 赤色大煙突(高サ98米)アリ又島ノ中央ニ白色大煙突(高サ88米)アリ共 ニ
	9		崎戸丸 以下ヲ次ノ通改ム 數隻アリ、主ナルモノハ福浦丸(650馬力)、崎戸丸(480馬力)、高砂丸

水
53

頁	行	記	事
			(100馬力)等ナリ。
	18次	次ノ追加ス	
	24	4隻ヲ3隻ト改ム	
	25	36隻ヲ38隻ト改ム	
127	8	寄港スノ次ニ	尙長崎へ發動機船ノ2往復アリヲ追加ス
	9	ハ	ヲニハ發動機船ノ5往復アリ尙ト改ム
	9次	次ノ追加ス	
		水底電線	港内福浦海岸ヨリ内港ヲ横斷シ距離約100米ノ對岸網干場ニ至ル水底電線1條アリ、線條ノ左右各30米以内ヲ以テ線路區域トス。
12至15		* 次ノ追加ス	
		水先	九州炭礦汽船株式會社崎戸礦業所運輸係内ニ水先人事務所アリ、無線電信其ノ他ニ依リ要請ニ應ズ、御床ノ鼻ト鶴崎トヲ結ブ線外ニテ乗船ス、礦業所專屬ノ水先人2名アリ。
		崎戸町	人口13,916(昭和10年國勢調査)ニシテ町役場、郵便局及税關監視署等アリ。
		暴風標	蠣ノ浦小學校校庭及崎戸島本郷(崎戸)海岸ニ地方暴風標アリ。
		架空線	蠣ノ浦導燈ノ中燈及後燈ノ位置ヨリ對岸ニ至ル架空線各1條アリ線ノ高サ高潮面上36.4米◎礦業所水槽ノ南方ヨリ對岸ニ至ル架空線1條アリ線ノ高サ高潮面上36.4米◎蠣ノ浦島南西端今泊ヨリ對岸崎戸島ニ至ル架空線2條アリ線ノ高サ高潮面上40米及38.7米。
	26	蠣ノ浦島ヲ	端島、中ノ島、寺島ト改ム
128	1次	次ノ追加ス	
		水底電線	寺島水道北口ニ水底電線アリ。
129	13	レドモ	ヲ削除ス
	15	* 末尾ニ	人口3,652(昭和10年國勢調査)ヲ追加ス
130	17次	次ノ追加ス	
		水底電線	七ツ釜浦北口東側小濱附近海岸ヨリ及寺島水道南方東側高帆山ノ南西方附近海岸ヨリ蠣ノ浦島中戸西方海岸ニ至ル各1條ノ水底電線アリ。
	21	末尾ニ	◎島内ニ郵便局及税關監視署アリ。ヲ追加ス
	22	角島ヲ	角瀨(ツノゼ)(角島)ト改ム

頁	行	記	事
130	25	* 松島港ハ島ノ北側ニ在ル小灣ニシテ、	ヲ次ノ追加ス
		松島港〔内浦灣〕 (海圖1230)ハ島ノ北側ニ在ル小灣ニシテ船舶ハ導燈低燈ノ南東方約280米ノ港岸ニ横付シ「ベルトコンベヤー」ヲ以テ荷役ヲ爲セバ1時間約120噸ノ載炭ヲ行ヒ得、人口5,651(昭和10年國勢調査)、	
	27	ノ北西方ニ在リ	ヲ○ヨリ307.5度570米ニ在リト改ム
	30	ノ南々西方約1鏈	ヲヨリ199度228米ト改ム
131	欄外	海圖198	ヲ削除ス
	3	前燈ノ南々西方約0.3鏈	ヲ低燈ヨリ199度280米ト改ム
	6	「センガン」瀨ノ中瀨及「ツグノ」磯	ヲ「センガンノ中瀨」及「ツグ出シ」(ツグノ磯)ト改ム
	7	末尾ニ	次ノ追加ス
		但シ此ノ一線ハ「ツグ出シ」ノ南東方約240米ニ在ル「杉山出シ」(水深9.6米)ノ東側至近ヲ通過スルヲ以テ大吃水船舶ハ注意ヲ要ス。	
8至9		次ノ追加ス	
		立標	「センガン」瀨干出2.1米礁上ニ2立標アリ、之ヨリ内方ニハ導標タル上記3立標ノ外尙4立標アリ何レモ松島炭礦會社ノ設立ニ屬ス。
	13	38米	ヲ43米ト改ム
	14	「モットリ」山	ヲ元取山(モットリ山)ト改ム
15,16		「ドワタシ」鼻	ヲ「ロワタシ」鼻(ドワタシ鼻)ト改ム
	16	五郎ノ島	ヲ五郎ヶ島ト改ム
	17次	次ノ追加ス	
		西泊泊地 (海圖1230)	松島水道ノ西側ニ在リ載炭船舶錨泊シテ荷役ヲ行フ、炭坑ハ濱泊ニ在リテ東松島炭礦會社ノ經營ニ屬シ海岸ニ其ノ積出用棧橋アリ、又東側ノ瀨戸町ニ郵便局及地方暴風標アリ。
	18至19	次ノ追加ス	
		水底電線	松島北東角ト對岸瀨戸町トノ間ニ2條ノ水底電線アリ。
	19次	次ノ追加ス	
		架空線	五郎ヶ島頂ノ電柱(高サ約15米)ト其ノ對岸280度約1.6鏈ニ在ル電柱トノ間ニ炭坑用架空線アリ。
133	15	* 標信旗	ヲ回答旗ト改ム
	16次	* 次ノ追加ス	
		式見港	蠣ノ浦ト端崎トノ中間ニ在ル漁港ニシテ目下港灣修築中ナリ◎

木
53

頁	行	記 事
		郵便局アリ、人口 5,837 (昭和 10 年國勢調査)。 主ナル移出品ハ鮮魚介、乾魚等ニシテ移入品ハ雜貨ナリ、昭和 7 年出入港船 船總數ハ 3,538 隻、總噸數 204,566 噸ナリ。
133	20	次ノ通改ム 約 1 鏈ニ暗岩アリ柱瀬ト謂フ干出 0.4 米、其ノ南西方約 90 米ニ暗礁アリ水 深 1.2 米◎福田崎ヨリ 248 度約 1 湮ニ點礁
	22	福田灣 ヲ 福田浦 ト改ム
	24	次ノ通改ム 方約 2 鏈ニ干出 0.6 米岩アリ沖ノ楯懸ト謂ヒ此ノ岩ト陸岸トノ中央ニ 1 岩ア リ干出 0.3 米、地ノ楯懸ト謂フ◎浦ノ東角鳴崎ヨリ南西方約 1 鏈ニ水深 5.3 米ノ暗岩
134	2	伊王鼻 ヲ 眞鼻 (伊王鼻) ト改メ 1 鏈 ヲ 約 90 米 ト改ム
	3	6.6 米 ヲ 8.2 米 ト改ム
	11	3.1 米 ヲ 4.4 米 ト改メ 2.5 鏈暗岩 ヲ 2.3 鏈干出岩 ト改ム
	13	末尾ニ次ノ通追加ス 干出 1.6 米、其ヨリ北北西 1 鏈ノ間ハ淺水ニシテ外端ハ水深 4.6 米ナ リ。
	15	34 分 ヲ 削除ス
	19	外ノ平瀬 ヲ 西ノ平瀬 ト改ム
	22	幅約 1 ヲ 幅約 2 ト改ム
	26	「カンダイ」 ヲ 「カンダイ」 ト改ム
135	4	削除ス
	8	(高 6.6 米) ヲ (高サ 6.7 米) ト改ム
	9	9.1 乃至 10.9 米 ヲ 9.6 米以上 ト改ム
	10至11	平瀬ノ外 以下ヲ次ノ通改ム 唐人打割礁ハ干出 2.7 米ニシテ立標ハ倒壊シテ存在セズ、平瀬ハ干出 2.8 米 ニシテ礁上ニ艦船速力試験用ノ六角形頭標附「コンクリート」造立標アリ高 サ 6.2 米、戸藏礁ハ干出岩ニシテ礁上ニ黒塗圓形石造立標ヲ立テテ之ヲ標示 ス高サ 3.6 米。
	12	高 37 米 ヲ 高サ 25 米 ト改メ (高 3.5 米) ヲ (干出 3 米) ト改ム
	13	紅塗圓形石造立標ヲ以テ之ヲ示ス ヲ 削除ス 立標 ヲ 礁 ト改メ 5 米 ヲ 5.4 米 ト改ム

頁	行	記 事
135	14	末尾ニ次ノ通追加ス ◎野牛島ニ汚物焼却所アリ、其ノ 2 煙突ハ絶エズ煙ヲ吐キ頗ル顯著ナリ。
	15	(オシドホリ) ヲ (オシトージ) ト改ム
	18	末尾ニ 前者ハ高サ 3.6 米、後者ハ高サ 4.3 米ナリ。 ヲ追加ス
	19	約 2 鏈 ヲ 距岸約 1 鏈 ト改メ 「チョウス」 ヲ 「チョース」 ト改ム
	20	出 2.7 米岩アリ、 ヲ次ノ通改ム 出 2.4 米岩アリ、岩上ニ艦船速力試験用ノ立標アリ高サ 6.9 米、
	22至26	* 次ノ通改ム 水底電線 千本山鼻南方ヨリ Vladivostok 及上海ニ至ル各 2 條ノ水底 電線アリ、又深堀ト高島トノ間ニ 1 條、土井ノ首村鑛崎ノ北方ヨリ對岸香燒 島待手ヶ浦ニ至ル 2 條ノ水底電線アリ。
	28	末尾ニ 兩島ハ橋梁ヲ以テ連絡ス。 ヲ追加ス
136	2	没スル ヲ 洗フ ト改ム
	10	千本鼻 ヲ 千本山鼻 ト改メ 「チョウス」 ヲ 「チョース」 ト改ム
	11	内方 ヲ 西方 ト改ム
	12	「イモリ」山 ヲ 飯盛山 ト改ム
	13	220 米 ヲ 210 米 ト改ム
	14	1,489.89 ヲ 1,389.89 ト改ム
	16	最大島ニシテ樹木ヲ生ゼズ ヲ 最大島ナリ ト改ム
	19至20	南角ヨリ 以下 1 岩アリ 迄ヲ次ノ通改ム 南角ハ狭少ノ地頸ヲ以テ本島ト連絡シ一見離嶼ノ如ク遠望稍顯著ナリ
	23	0.9 米礁 ヲ 0.8 米礁 ト改ム
	23至24	岩上ニ 以下ヲ削除ス
	28	巨松疎生シ ヲ 樹木密生シ ト改ム
137	2	0.8 鏈 ヲ 約 130 米 ト改メ 8.6 米岩 ヲ 8 米岩 ト改ム
	2	「オキノカラカサソネ」 ヲ 沖ノ傘曾根 ト改ム
	3	水深 29 米 ヲ 水深 27 米 ト改ム
	4	9.1 米 ヲ 9.2 米 ト改メ 12.3 乃至 25 米 ヲ 12.2—23 米 ト改ム
	5	108 度 29 分 ヲ 110 度 ト改ム
	6	1.5 鏈 ヲ 2 鏈 ト改メ 9.6 米 ヲ 10.2 米 ト改ム
	8至9	海底險惡ナリ ヲ次ノ通改ム 海底險惡ニシテ其ノ外端ハ即チ「バンドー」瀬ナリ

木
53

頁	行	記	事
137	9	1.3 鐘	ヲ 1.2 鐘 ト改ム
	10	0.3 米	ヲ 0.1 米 ト改ム
		立標ヲ設ク	ノ次ニ 本立標ハ目下半バ以上倒壊シ居レリ ヲ追加ス
	11	0.6 米	ヲ 0.5 米 ト改ム
	12	末尾ニ	高サ4米 ヲ追加ス
	13	東側肥料庫煙突ヨリ305度1.05 鐘	ヲ 突堤端ヨリ80度130米 ト改ム
	14	5.4 米	ヲ 5 米 ト改ム
	15	1.8 米	ヲ 1.2 米 ト改メ 2.5 鐘 ヲ 2.3 鐘 ト改ム
19次		次ノ	追加ス
		ハンドウ 瀬繁船浮標	「ハンドウ」瀬掛燈浮標ト高鈴島トノ中央ニ緊船浮標1箇アリ、火薬爆發物等ノ危険物ヲ搭載セル船舶ノ緊留用ニ供ス。
24		末尾ニ	次ノ追加ス
		◎昭和5年7月18日ノ暴風雨通過ニ際シ港内ニ於テ沈没セルモノ汽船3隻	發動機船其ノ他121隻ニ及ビ在泊船舶ノ殆ド全部(407隻)ハ皆多少ノ損傷ヲ蒙リシト謂フ。
138	24至25	* 次ノ	通改ム
		暴風雨標及地方暴風標	長崎市大浦報時観測所構内ニ暴風雨標及地方暴風標アリ夜間燈火ニ依ル天氣豫報信號ヲモ行フ、又同市元船町大波止海岸及土井ノ首村轉石輸入獸類検査所構内ニ暴風雨標及地方暴風標アリ。
			(貼附訂正)
	26	56 分	ヲ 55 分 ト改ム
	31	北東方0.3 鐘	以下ヲ次ノ通改ム
		北東方110 米ニ干出岩アリ南平瀬ト謂フ干出1.2 米、外側水深シ。	
139	4至6	此ノ信號ハ	以下ヲ次ノ通改ム
		晝間ハ國際信號ニ依リ入港スル船舶ニ對シ其ノ検査ヲ要スルモノハ停船ヲ命ジ必要ナキモノハ錨地ノ指定ヲ爲ス、夜間ハ礎上18 米ノ處ニ常夜燈(100 燭光白色電燈)ヲ掲ゲ船舶ノ出入ニ便ス。	
	8至9	港務部モ此處ニ在リ、同部ハ	ヲ次ノ通改ム
		税關(廳舎内ニ港務部アリ)及日華連絡線ノ發著所アリ、税關ハ	
	10次	次ノ	追加ス
		目標	下記諸目標ハ港内第1區出入船舶ニ對シ好目標ナリ。
		(1)	稻佐崎13 Δヨリ232度162米ト229度190米ニ在ル「コンクリート」

頁	行	記	事
		造無線電信柱(地上ノ高サ30米)。	
		(2)	浦上川口ヨリ上流約600米ニ在ル稻佐橋南西方白色煙突ヨリ241度40分68米ニ在ル白色煙突。
		(3)	縣廳構内煙突ヨリ10度45分433米ニ在ル紅色棟瓦造煙突。
		(4)	報時観測所内報時球ヨリ354度45分235米ニ在ル白色尖塔。
139	14	9.1 乃至9.6 米	ヲ 8.9 米以上 ト改ム
	18	小菅鼻ハ	以下 北方ハ 迄ヲ削除ス
	19	0.5 鐘	ノ次ニ 以内 ヲ追加ス
139	28	40 度57 分	以下 ◎其ヨリ 迄ヲ次ノ通改ム
140	3	40 度若ハ	以東ニ保視スルヲ要ス、然ルトキハ高島以南ノ諸險ノ西方ヲ航行シ得ベシ、既ニ高島ノ西方ニ達セバ適宜變針シテ香焼出シノ西方約1 哩ヲ過ギ次デ
140	4至5	118 度27 分	以下 353 度8 分 迄ヲ次ノ通改ム
		113 度ニ望ミ約3 哩ヲ航シ、次デ中ノ島西端ト福田崎險崖西端トヲ一線 346 度	
	9	2 哩	以下ヲ次ノ通改ム
		3 哩ヨリ119 度ノ針路ヲ	
141	6	* 規定シアリ	ノ次ニ 尙私設緊船浮標トシテ三菱重工業株式會社長崎造船所所有3 箇及「スタンダード」石油會社所有1 箇アリ ヲ追加ス
	6,8	* 「三菱造船所」「三菱造船會社」ヲ	三菱重工業株式會社長崎造船所ト改ム
	15至16	削除ス	
	22	松尾鐵工場	ノ次ニ 跡 ヲ追加ス
142	2	土井首	ノ次ニ ノ西方飯盛山ノ西側海岸 ヲ追加シ 造船工場 ノ次ニ 跡 ヲ追加ス
	5	削除ス	
	7至8	税關ノ規定休日	以下ヲ次ノ通改ム
		四大節ニハ特ニ已ムヲ得ザル事情アルモノノ外特許ヲ與ヘズ、其ノ他ノ普通祝祭日、日曜、鎮守祭(10月1日至10月9日)ニハ特許ヲ得レバ荷役可能ナリト謂フ。	
	20	末尾ニ	次ノ追加ス
		西泊町南東方約2.5 鐘「スズレ」埼北方ニ合同石油販賣會社ノ油槽及棧橋ア	

水
53

頁	行	記 事												
143	3至27	<p>リ。</p> <p>* 次ノ通改ム</p> <p>貿易 主ナル輸出品ハ機械及同部分品、石炭、雜詰、百合根、馬鈴薯、乾鰯、車輛及同部分品、鮮魚介等ニシテ輸入品ハ原油及重油、綿綿、礦油、鐵板、機械類、豆糟、木材、硫酸「アムモニア」等ナリ。</p> <p>昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内國汽船</th> <th>外國汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>10,242</td> <td>462</td> <td>11,521</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>904,807</td> <td>1,492,137</td> <td>2,449,122</td> </tr> </tbody> </table> <p>交通 遞信省、朝鮮總督府及長崎縣命令航路船ノ長崎ニ出入スルモノハ大略次ノ如シ。</p> <p>(1) 橫濱「メルボルン」線 毎月1回以上往復トモ寄港。</p> <p>(2) 長崎上海線 毎4日ニ1回以上往復トモ寄港。</p> <p>(3) 橫濱牛莊線 1年12回以上往航又ハ復航ニ寄港。</p> <p>(4) 朝鮮長崎大連線 1年36回以上往復トモ寄港。</p> <p>(5) 長崎壹岐對馬線 毎月6回以上長崎ヲ起點トシテ發著ス。</p> <p>(6) 長崎玉ノ浦線 毎月14回以上長崎ヲ起點トシテ發著ス。</p> <p>(7) 長崎五島佐世保線 毎月28回以上長崎ヲ起點トシテ發著ス。</p> <p>(8) 九州西鮮大連線 毎月2回寄港ス。</p> <p>以上ノ外自營定期航路トシテ本邦船ノ又命令定期航路トシテ外國船ノ寄港スルモノ多シ。</p>		内國汽船	外國汽船	船舶總計	隻 數	10,242	462	11,521	總噸數	904,807	1,492,137	2,449,122
	内國汽船	外國汽船	船舶總計											
隻 數	10,242	462	11,521											
總噸數	904,807	1,492,137	2,449,122											
144	15次	<p>次ノ通追加ス</p> <p>長崎放送局 放送用私設無線電話局ニシテ長崎市西坂町78番地ニ在リ(水路誌附録第5卷參照)。</p>												
17		<p>末尾ニ次ノ通追加ス</p> <p>長崎市有棧橋使用料條例、同使用規則、市營第3號棧橋使用料條例、出島岸壁繫船料並ニ入場料徵收規程、同繫船料低減率ノ件、市有元船町荷揚場使用條例、市設保稅工場使用條例、同條例細則、指定保稅工場地域内土地建物賃貸規程、同第1條第1項ノ土地建物專用料徵收額及同規程取扱手續アリ(水路誌附録第2卷參照)。</p>												
19		<p>港務部、ノ次ニ 市港灣課事務所 ヲ追加シ 海事部 ヲ 海事部出張所ト改ム</p>												

頁	行	記 事
144	22至23	<p>* 次ノ通改ム</p> <p>人口 211,702(昭和10年國勢調査)。</p>
	27	<p>ベシノ次ニ 灣首ノ蚊燒ニ郵便局アリ、ヲ追加ス</p>
145	6至7	<p>* ニシテ、以下 好目標タリ 迄ヲ ナリ ト改ム</p>
	14	<p>* 末尾ニ 好目標ナリ ヲ追加ス</p>
	15次	<p>次ノ通追加ス</p> <p>二子島至端島間ニ水底電線アリ、兩地共陸揚地ヨリ沖合800米迄ニ線條ノ左右各60米以内、其ノ外方ハ線條ノ左右各200米以内ヲ線路區域トス。</p>
	28	<p>末尾ニ次ノ通追加ス</p> <p>◎島ノ東岸ニ岩壁アリ海面ニハ横付船ノ船艀繫船用ノ浮標2箇宛ヲ碇置シ岸壁ニ「ベルトコンベヤー」ノ設備アリ、載炭ハ此ノ處ニ船ヲ北ニ横付シテ行フ、水深深ク錨搔キ良好ナラズ、殊ニ防波堤ナキヲ以テ常ニ多少ノ動搖ヲ免レザルヲ以テ繫索ニ對シテハ特ニ注意ヲ要スト謂フ、載炭能力、昭和8年11月1汽船ハ400噸ニ8時間ヲ要シタリト謂フ◎島ニ近ヅケバ礦業會社ノ荷役掛來船シ繫船ニ關シ指示ス、夜間ハ載炭機外端ニ電燈ヲ點ズ。清水ハ補給不可能ナリ少量ノ食糧ハ得ラルト謂フ。</p>
148	24至26	<p>次ノ通改ム</p> <p>古志岐島燈臺 古志岐島上ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造、燈高70米。</p>
	28次	<p>次ノ通追加ス</p> <p>黒母瀬燈標 黒母瀬上ニ在リ、高サ4.5米紅黒横線塗鐵造樽形、燈高18米。</p>
149	10	<p>198度 以下ヲ 196度ニ、飯良崎ヲ271度ニ ト改ム</p>
	11	<p>北角 以下ヲ 北端立岩ヲ僅ニ飯良崎ノ ト改ム</p>
	15	<p>北角 ヲ 北端立岩 ト改ム</p>
	16	<p>次ノ通改ム</p> <p>シテ該岩ヲ308度ニ望ミテ入進シ鼠島ヲ196度ニ</p>
	24	<p>1條 ヲ削除ス</p>
150	3	<p>黒母瀬ノ次ニ 燈標 ヲ追加ス</p>
	22至24	<p>野崎島北角 以下 3.3鍾) 迄ヲ次ノ通改ム</p> <p>「クスクリ」崎ヲ319度ニ、唐見崎鼻南東端ヲ61度ニ望ム水深約16.4米ノ處</p>



水
53

頁	行	記	事									
151	1至2	3分	ヲ削除ス									
	3,7	311	ヲ310ト改ム									
	4	(海圖223對景圖參照)	ヲ削除ス									
	6	40度56分	ヲ41度ト改ム									
	17	末尾ニ	◎長崎五島佐世保線ヲ航行スル汽船寄港ス。ヲ追加ス									
152	19	平瀬	ヲ平島ト改ム									
153	20	(海圖217)	ヲ(海圖223)ト改ム									
	24	178度52分	ヲ183度ト改ム									
	26	浦	ヲ村落ト改ム									
	27	251度48分ニ望ム水深18米	ヲ245度ニ望ム水深20米ト改ム									
	28	232度7分	ヲ233度ト改ム									
154	6	米岩アリ	ノ次ニ百貫瀬ト稱スヲ追加ス									
155	12次	* 次ノ通追加ス										
		奈良尾港	棹崎ノ北方約1.5哩ニ在ル漁港ナリ、人口5,935(昭和10年國勢調査)、長崎五島佐世保線ノ定期船寄港ス。									
		移出入	主ナル移出品ハ乾魚、魚糟等ニシテ移入品ハ織物、食鹽等ナリ。									
			昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>1,424</td> <td>3,143</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>171,227</td> <td>197,012</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻數	1,424	3,143	總噸數	171,227	197,012
	汽船	船舶總計										
隻數	1,424	3,143										
總噸數	171,227	197,012										
	14次	次ノ通追加ス										
		燈	萱場崎ノ南西方山腹ニ不動白光燈アリ高さ約30米、村落ノ燈火ニシテ夜間ノ好目標ナリト謂フ。									
	15	(海圖217)	ヲ(海圖223)ト改ム									
	17	末尾ニ	定期船ノ寄港ハ奈良尾ニ同ジ。ヲ追加ス									
156	18	(海圖217)	ヲ(海圖223)ト改ム									
	20	足ルベシ、	以下ヲ次ノ通改ム									
			足ルベシ目下港灣修築中ナリ但シ「ママコ」瀬ヨリ筍島ヲ									
	26	* 次ノ通改ム										
		有川町	灣首中央ニ在リ福江ニ次グ町ニシテ人口8,759(昭和10年國勢調査)漁農相半ス◎									

頁	行	記	事									
156	27	村役場	ヲ町役場ト改ム									
	28次	* 次ノ通追加ス										
		移出入	主ナル移出品ハ鹽魚、乾魚ニシテ移入品ハ内地米、和酒等ナリ。									
			昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>631</td> <td>1,311</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>75,891</td> <td>79,051</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻數	631	1,311	總噸數	75,891	79,051
	汽船	船舶總計										
隻數	631	1,311										
總噸數	75,891	79,051										
157	欄外	海圖1212	ヲ海圖198,1212ト改ム									
	4	北方	ノ次ニ約6哩ヲ追加ス									
	5次	次ノ通追加ス										
		立串	龜ヶ瀬ノ南西方約1.5哩立串鼻ノ西方ニ在ル村落ニシテ北魚目村役場、郵便局等アリ又地方暴風標アリ、定期船ノ寄港ハ有川ニ同ジ。									
158	10次	次ノ通追加ス										
		水底電線	重石ノ北西方ナル若松郷小字菜切ヶ浦ト其ノ對岸ナル宿ノ浦小字「ボツボケ」浦トノ間ニ水底電線1條アリ、線條ノ左右各30米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。									
161	3	五島	ノ次ニ佐世保ヲ追加ス									
	4	末尾ニ	◎村役場、郵便局、無線電信局アリ。ヲ追加ス									
	4次	次ノ通追加ス										
		奈留島無線電信局	固定局ニシテ對手局ハ福江、久賀島ノ2局ナリ(水路誌附録第5卷參照)。									
162	10	末尾ニ	◎久賀ニ村役場、郵便局、無線電信局アリ。ヲ追加ス									
	10次	次ノ通追加ス										
		久賀島無線電信局	固定局ニシテ對手局ハ福江、奈留島ノ2局ナリ(水路誌附録第5卷參照)。									
163	欄外	海圖217	ヲ追加ス									
163	4	岐宿浦(キシユク)	ノ次ニ(海圖217)ヲ追加ス									
	6	郵便局アリ。	ヲ次ノ通改ム									
			村役場、郵便局アリ◎長崎玉ノ浦線ヲ航スル定期船寄港ス。									
	7	水之浦	ノ次ニ(海圖217)ヲ追加ス									
	14	末尾ニ	次ノ通追加ス									
		◎濱畔(三井樂)	ハ日下港灣修築中ニシテ村役場、郵便局アリ、定期船ノ寄									

水
53

頁	行	記	事
			港ハ岐宿ニ同ジ。
164	7	玉之浦	ノ次ニ (海圖217) ヲ追加ス
165	22	投鉛	ヲ 測深 ト改ム
	24	* 主要工場	玉ノ浦ニ於テハ ヲ次ノ通改ム
		玉ノ浦港	袋水道ノ南口ニ在リ人口 9,829 (昭和10年國勢調査)◎
166	5次		* 次ノ通追加ス
		移出入	主ナル 移出品ハ鮮魚介類ニシテ移入品ハ礦油、米等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
			汽船 船舶總計
		隻數	280 6,331
		總噸數	160,975 326,827
	7	寄港	ヲ 入港 ト改ム
	10	警察署	ヲ 削除ス
	11	末尾ニ	地方暴風標アリ。 ヲ追加ス
	23至25		削除ス
167	4	過グル後299度45分	ヲ 過ギタル後300度 ト改ム
	22至23	◎灣首	以下ヲ削除ス
	26	「バハン」瀬ト稱スル	以下ヲ次ノ通改ム
		八幡瀬 (バハン)	ト稱スル干出2.1米ノ岩アリ◎八幡瀬ヨリ94度3鐘ニ
	27	礁上水深	以下ヲ次ノ通改ム
		最小水深0.9米◎「ガメ」瀬ヨリ121度2.5鐘ニ	米ケ曾根 (コメガソネ) ト
		稱スル淺礁アリ礁上ノ水深6.6米。	
167 168至	28 1至	多岩ナレドモ處々ニ	小沙濱アリ ヲ 多岩ナリ ト改ム
168	2	富江灣	ノ次ニ (海圖217) ヲ追加ス
	3	末尾ニ	◎富江港ハ農林省補助漁港ナリ。 ヲ追加ス
	5	長崎測候所富江觀測所	ヲ 中央氣象臺附屬富江測候所 ト改ム
	6	末尾ニ	次ノ通追加ス
		測候所屋上ニハ夜間觀測用ノ爲隨時電燈ヲ點ズ◎測候所ノ南方至近ニ富江無	線航空局ノ無線電信柱2基アリテ好目標ナリ。
	9,11	竹ノ子島	ヲ 竹ノ小島 ト改ム (3箇所)
	9至10	亦矮松疎生ス	ヲ 松樹茂ル ト改ム

頁	行	記	事
168	16至18		次ノ通改ム
		立標	沖ノ黒瀬最南岩上ニ黒塗「コンクリート」造立標アリ◎町ノ北東角ニ接スル「沖ノガン」瀬ト稱スル干出岩上ニモ「コンクリート」造小立標アリ。
	20	6.8米	ヲ 5.4米 ト改ム
	23次		次ノ通追加ス
		小白瀬ヨリ111度3鐘ニ水深11米ノ極メテ尖頂ヲ有スル暗岩アリ◎「カスラ」鼻ヨリ220度8鐘港口中央ニ水深11.8米ノ礁アリ「カスラ」曾根ト稱ス。	
	27	末尾ニ	次ノ通追加ス
		但シ此ノ錨地ニ至ル途中ニ於テ「カスラ」曾根ニ留意スルヲ要ス。	
169	2至14		* 次ノ通改ム
		針路法	富江灣ニ入ルニハ必ず其ノ南濱ヲ避クベシ◎南西方ヨリ來ルトキハ黒島南東端ト大野鼻端トヲ一線(約45度)ニ保視シテ航進セバ笠山岬附近ノ諸險礁ヲ避ケ得ベク次デ黒島汐池鼻ヲ約6鐘隔テテ航過スル様高崎鼻ニ向進シ大白瀬ヲ325度ニ視ルニ及ンデ之ニ向ツテ進ミ小白瀬ノ南東約5鐘ヨリ該瀬ノ南方至近ヲ通過シ大白瀬ト「カスラ」鼻トノ一線上大白瀬ノ西方約6.5鐘ニ投錨スベシ。
		小形船舶ハ富江港燈標ヲ135度約5鐘ニ望ム處マデ入進スルコトヲ得。	
		大白瀬西方ヘノ入泊ニ適セザル大形船舶ハ黒島ノ西方ヨリ御手水鼻ニ向首航進シ大白瀬ト田尾南東方ノ岩角トヲ一線ニ視ル附近ニ到リ投錨スルヲ可トス	
		◎東方ヨリ來ル船舶ハ赤島北方水道ヨリ吃水ニ應ジ前記錨地ニ入泊スルコトヲ得◎赤島及立島ヨリ擴延スル諸礁竝ニ「モーツ」岩ニ注意ヲ要ス。	
		富江港燈標	沖ノ黒瀬北東岩上ニ在リ、黒塗「コンクリート」造圓柱、燈高9.3米。
		富江港防波堤燈竿	防波堤西端ニ在リ、「コンクリート」造四角柱、燈高7.8米。
	16	ヨリ北西方ヘ	以下 286.3米 迄ヲ次ノ通改ム
		ノ北西端ヨリ230度ヘ137米其ヨリ291度ヘ333米	
	24次		* 次ノ通追加ス
		移出入	主ナル 移出品ハ鮮魚介、珊瑚等ニシテ移入品ハ鮮魚介、米、酒等ナリ。

木
53

頁	行	記	事
			昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
			汽船 船舶總計
		隻數	370 3,900
		總噸數	94,764 158,643
169	26	末尾ニ次ノ通追加ス	
			◎富江ト對岸大濱トノ間ニハ毎日數回發動機船ノ往復連絡アリテ其ヨリ福江ニ自動車ノ便アリ。
	28次	次ノ通追加ス	
		富江無線電信航空局	只狩山北西山腹ニ在リ(水路誌附録第5卷參照)。
170	1至2	* 次ノ通改ム	
		富江町	人口 11,928(昭和10年國勢調査)ヲ有シ町役場、郵便局、區裁判所出張所、中央氣象臺附屬富江測候所、無線航空局等アリ又地方暴風標アリ。
	3	* 毛通岩 (モウツウ) ヲ モーツ岩 ト改ム	
	16	ヲ 14 ト改ム	
	4	9.2米 ヲ 10米 ト改ム	
	7	末尾ニ 目下港灣修築中ナリ。 ヲ追加ス	
	7次	次ノ通追加ス	
		黄島燈臺	黄島頂南方至近ニ在リ、白塗四角形「コンクリート」造、燈高101米。
	8	美漁島 (ビロウ) ヲ ビロウ島 ト改ム	
	9	美漁島 ヲ 「ビロウ」島 ト改ム	
	12	31米 ヲ 8米 ト改メ 12米 ヲ 11米 ト改ム	
	18	ニ在ル ノ次ニ 3箇ノ ヲ追加ス	
	25	146米 ヲ 144米 ト改ム	
171	3	福江泊地 ヲ 福江港 ト改ム	
	6次	次ノ通追加ス	
		燈	福江町北部ノ河口北側防波堤先端舊燈明臺ノ北ニ接シ高低2箇ノ白色電燈アリテ夜間船舶ノ目標ト爲ル◎長手村落西方山腹著松ノ東側ニ白色電燈1箇アリテ夜間福江入港船舶ノ好目標タリ。
	7至8	榮螺島 以下 30分 迄ヲ次ノ通改ム	
			庵丁島ノ東端ヲ2度、舊城趾ノ中學校ヲ243度

頁	行	記	事
171	8,11	陂 ヲ 波 ト改ム	
	19至23	防波堤 以下、内方ハ稍深シ 迄ヲ次ノ通改ム	
		港ノ修築	町ヲ貫流スル河口ノ北側ヨリ南東方ヘ約250米、南側ヨリモ略同方向ヘ約173米ノ防波堤ヲ築造シ、後者ノ先端ニ東方ヘ約127米ノ防波堤アリ、昭和7年度ヨリ前記127米防波堤ヲ更ニ東方ヘ270米延長工事中ニシテ南防波堤ハ竣工セリ、北防波堤ノ基部南側ハ埋立中ニシテ港内ハ水深4米ニ浚渫中ナリ◎
	25次	* 次ノ通追加ス	
		移出入	主ナル移出品ハ煙草、粟及稗麥ニシテ移入品ハ和酒、煙草、鮮魚介、織物、米等ナリ。
			昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
			汽船 船舶總計
		隻數	1,384 5,586
		總噸數	247,266 264,496
172	4次	* 次ノ通追加ス	
		福江無線電信局	固定局ナリ(水路誌附録第5卷參照)。
	7至8	* 次ノ通改ム	
		福江町	人口 11,199(昭和10年國勢調査)ヲ有シ五島列島ノ首邑ニシテ長崎縣南松浦支廳、町役場、無線電信局、郵便局、警察署、稅務署、稅關監視署等アリ又地方暴風標アリ。
173	欄外	海圖 1212 ヲ 海圖 1212, 1208 ト改ム	
	4	樫ノ浦 ノ次ニ (海圖 223) ヲ追加ス	
	5	末尾ニ 奥浦ニ郵便局アリ。 ヲ追加ス	
	10	戸岐浦 ノ次ニ (海圖 223) ヲ追加ス	
177	欄外	海圖 187, 203 ヲ 海圖 213 ト改ム	
	17	暴露ス ノ次ニ 目下船溜築造中ナリ ヲ追加ス	
	21	協岬村 ヲ 野母及協岬 ト改ム	
178	6至7	* 人口 以下ヲ次ノ通改ム	
			目下船溜築造中ニシテ樫島村ハ人口 1,961(昭和10年國勢調査)ヲ有シ郵便局アリ。
	9次	次ノ通追加ス	
		野母埼燈臺	樫島南西端附近ニ在リ、白塗圓筒形「コンクリート」造、

木
53

頁	行	記	事									
			燈高 127 米。									
178	14	* 標信旗	ヲ 回答旗 ト改ム									
179	1	強壓電洗線	ヲ 高壓電線 ト改ム									
	12	投錨シ得ベシ	ノ次ニ 目下船溜築造中ナリ ヲ追加ス									
	15	* 人口 1 萬餘	ヲ 人口 10,384 (昭和 10 年國勢調査) ヲ有シ ト改ム									
	19 次	* 次ノ通	追加ス									
		移出入	主ナル移出品ハ鮮魚介等ニシテ移入品ハ清酒及鶏卵等ナリ。									
			昭和 9 年ニ於ケル出入港船舶噸數次ノ如シ。									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>1,644</td> <td>3,186</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>78,575</td> <td>86,859</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	1,644	3,186	總噸數	78,575	86,859
	汽船	船舶總計										
隻 數	1,644	3,186										
總噸數	78,575	86,859										
180	5	末尾ニ	◎灣首矢上ニ郵便局アリ。 ヲ追加ス									
	17	末尾ニ	次ノ通追加ス									
			沿岸ノ有喜村ニ郵便局、地方暴風標アリ、千々石町ニモ郵便局アリ又有喜村ト千々石町トノ中間距離約 1.5 哩ノ愛野ニ長崎無線電信局送信所アリ。									
	20	229 度 58 分	ヲ 230 度 ト改ム									
	23	* ◎小濱町ハ	以下ヲ次ノ通改ム									
		◎小濱町ハ	溫泉地トシテ有名ニシテ人口 10,290 (昭和 10 年國勢調査) ヲ有シ町役場、郵便局、警察署、地方暴風標アリ、									
	28	小濱町ニ	郵便局、地方暴風標アリ ヲ削除ス									
181	欄外	169	ヲ削除ス									
	8	末尾ニ	◎國崎ノ北北西 4 哩附近ニ數箇ノ艦艇用浮標存在ス。 ヲ追加ス									
183	1 至 3	次ノ通	改ム									
		水先事務所ハ	(甲)長崎縣南高來郡口之津町甲 458 ノ 2 (乙)福岡縣大牟田市鹽屋町 111 (丙)佐賀縣住ノ江港三井物産會社内ニ在リ、水先人ハ 3 名ニシテ各事務所ニ 1 名駐在ス。									
184	8 至 10	削除ス										
	11 至 12	次ノ通	改ム									
		荷役休止日	四大節ハ絶對不能、其ノ他ノ普通祝祭日、日曜、「クリスマス」、氏神祭 (10 月 15 日) ハ特許ヲ得レバ荷役可能ナリ。									
	15 至 24	* 次ノ通	改ム									
		移出入	主ナル移出品ハ雜品及飼料ニシテ移入品ハ「カツサアヴァルー									

頁	行	記	事												
			ト」及磷礦石等ナリ。												
			昭和 9 年ニ於ケル出入港船舶噸數次ノ如シ。												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内國汽船</th> <th>外國汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>4,839</td> <td>3</td> <td>7,693</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>166,839</td> <td>12,101</td> <td>371,927</td> </tr> </tbody> </table>		内國汽船	外國汽船	船舶總計	隻 數	4,839	3	7,693	總噸數	166,839	12,101	371,927
	内國汽船	外國汽船	船舶總計												
隻 數	4,839	3	7,693												
總噸數	166,839	12,101	371,927												
185	2	182 頁參照	ノ次ニ 水先人ハ早崎瀬戸ニテ乗船ス ヲ追加ス												
	4	末尾ニ	口之津港内取締規則アリ (水路誌附録第 2 卷參照)。 ヲ追加ス												
	6 至 7	* 察分署等	アリ 以下ヲ次ノ通改ム												
		察署等	アリ、人口 8,437 (昭和 10 年國勢調査)。												
	12 次	次ノ通	追加ス												
			大江及須川漁港ハ目下船溜築造中ナリ。												
		西有家燈竿	西有家驛南方ノ煙突附近ニ在リ、高サ 5.5 米ノ木柱ナリ。												
		水底電線	横曾根北東方西有家町字松原ト天草下島佐伊津村字城廻トノ間ニ水底電線 1 條ヲ敷設シ、兩陸揚地ヨリ沖合 2.2 哩迄ハ線條ノ左右各 40 米以内、其ノ他ハ各 180 米以内、佐伊津側ハ陸揚地ヨリ沖合 1,200 米ニ至ル間ニ限り各 25 米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。												
	14	約 3 哩ニ	在リ ノ次ニ 島ノ南岸ニ船溜及南東方ニ突出スル防波堤アリ、												
			ヲ追加ス												
	26	輻輳ス	ノ次ニ次ノ通追加ス												
		口島ノ對岸埋立地ニ浮棧橋アリ縣道ニ連絡ス、其ノ南方海岸ニ養魚場アリ、													
186	11 至 12	次ノ通	改ム												
		枯木鼻燈竿	辛木崎 (枯木崎) ニ在リ、木柱ニシテ燈高 6.1 米。												
	15 次	次ノ通	追加ス												
		沈船	島原燈臺ノ 17.3 度 4.4 哩ニ沈船 (約 200 噸ノ帆船) アリ (昭和 9 年)。												
	23 至 28	* 次ノ通	改ム												
		移出入	主ナル移出品ハ綿織物、食鹽、米、蒲鋒等ニシテ移入品ハ煙草、肥料、食鹽、木材等ナリ。												
			昭和 9 年ニ於ケル出入港船舶噸數次ノ如シ。												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>2,861</td> <td>19,766</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>299,325</td> <td>623,913</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	2,861	19,766	總噸數	299,325	623,913			
	汽船	船舶總計													
隻 數	2,861	19,766													
總噸數	299,325	623,913													

木
53

頁	行	記 事
187	欄外	海圖 205 ヲ追加ス
188	2,3	湊町 ヲ 島原湊 ト改ム
187	5至6	* 人口 以下 税關監視所、迄ヲ次ノ通改ム 人口 21,892 (昭和 10 年國勢調査)、町役場、專賣局出張所、税務署、税關監視署、
	16次	* 次ノ通追加ス 濱町 佐賀縣藤津郡ニ屬シ有明海ニ面ス、人口 4,157 (昭和 10 年國勢調査) ニシテ町役場、郵便局、地方暴風標アリ、省線長崎本線ハ肥前山口ヨリ分岐シ此ノ地ヲ通過シ諫早ニ至ル◎目下船溜築造中ナリ。
	18次	次ノ通追加ス 峯ノ洲燈浮標 峯ノ洲南端上ニ在リ、黑白横線塗圓筒形鐵造上部ニ格子製樁ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ、燈高水面上 4.6 米。
	21	* 末尾ニ次ノ通追加ス ◎住ノ江ニ郵便局、税關支署アリ、戸數 350 (昭和 7 年調)。
	23	末尾ニ次ノ通追加ス ◎昭和 6 年 8 月三井物産會社汽船高雄丸ノ報告ニ依レバ第 3 號立標ノ 42 度 6 鏈ノ地點ヨリ南方ヘ約 1 鏈ノ間水深減小ノ疑アリ、此ノ附近ニ甚ダ低キ低潮ニハ干出スル箇所アリト謂フ。
	23次	次ノ通追加ス 昭和 7 年 3 月同社汽船葛城山丸 (總噸數 2,428 噸) ノ報告ニ依レバ住ノ江港ノ最淺箇所ハ住ノ江川河口黑色浮標ト第 1 號立標トノ中間ニ在リテ實際ハ海圖ニ示ス水深ヨリハ稍多ク最低ノ低潮ニ於テ約 1 米ヲ保ツモノノ如シ、錨地ニ驗潮竿アリテ此ノ最淺箇所ノ水深 (實際ノ水深ヨリ 2 吋低キ値) ヲ示ス、實驗上高潮ノ際大潮時ニハ約 6.4 米小潮時ニハ約 4.6 米ノ吃水ヲ有スレバ此ノ箇所ノ通航可能ナリト謂フ。
	24	末尾ニ次ノ通追加ス 但シ船津川河口西方海岸地先埋立ノ實現ニ依リ港界起點ニ變化ヲ來セリ。
	26次	次ノ通追加ス 錨地 住ノ江川ノ屈曲セル部分即チ錨船浮標位置附近ハ水深最大ニシテ最高ノ高潮ニ於テ約 15 米アリ河中最好ノ錨地トス、但シ低潮ノトキニ於テ河幅約 150 米ニ過ズ又底質軟泥錨搔キ不良ナリ。 浮標ニ錨留船アルトキハ浮標下流 300 米位迄ノ間ヲ以テ適宜空船ノ錨地ニ充

頁	行	記 事												
		テ得ルモ偏南又ハ偏北ノ風力強キトキハ往々走錨ニ因リ對岸ニ坐洲スルコトアリ殊ニ低潮ノ場合ニ於テ然リトス。												
187	27	2 湮 ヲ 3 湮 ト改ム												
	28	同筒形 ヲ 圓筒形 ト改メ 高 2.7 米 ヲ 高サ 3.2 米 ト改ム												
188	3次	次ノ通追加ス 針路法 前記黒塗浮標ヲ距ルコト約 90 米ノ處ヲ航過シタル後第 1 號立標ノ東方約 2.5 鏈及第 3 號立標ノ東方約 1.5 鏈ノ處ヲ經テ 25 度ニ向ヒ第 5 號立標ト三丁川口西側南東角トヲ一線ニ見ルトキ 8 度ニ變針シ第 5 號立標ノ東方竝ニ第 2 號立標ノ西方各約 150 米ノ處ヲ經テ爾後 2 立標一線 3 對ノ各線上ヲ順次ニ航シタル後錨地ニ到ル。												
	4至5	次ノ通改ム 錨船浮標 汽船用錨船浮標 3 箇及帆船用錨船浮標 7 箇アリ、現在總噸數 2,500 噸程度ノ汽船ハ B 錨船浮標ノミヲ使用シ他ノ浮標ハ水深淺キ爲使用シ得ズト謂フ。												
	5次	次ノ通追加ス 錨船法 船舶ハ双錨泊ヲ行ヒ船尾ヲ錨船浮標ニ錨留スルモノトス依ツテ同一錨船浮標ニ入船錨留船及出船錨留船各 1 隻ヲ錨留スルコトヲ得、曳船其ノ他錨留及解纜ノ補助機關ナシ。 出船錨留ハ漲潮流速ノ相當アルトキ、入船錨留ハ落潮流速ノ若干アルトキニ非ザレバ實施困難ナリ殊ニ風力 3 以上ノトキハ河岸ニ壓流セラレ爲ニ坐洲スルコトアリ、然レドモ河底ハ軟泥ナルヲ以テ自力離洲困難ナラズ。 低潮ノ際ハ錨留不能ナリ。												
	6	次ノ通改ム 荷役休止日 四大節ハ荷役不能、其ノ他ノ税關休日 (日曜、祭日、10 月 17 日鎮守祭、12 月 25 日、12 月 31 日) ニハ特許ヲ受ケ荷役スルコトヲ得、但シ												
	12	給水船 1 隻アリ、ヲ削除ス												
	14至23	* 次ノ通改ム 貿易 主ナル輸出品ハ石炭ニシテ輸入品ハ飼料ナリ。 昭和 9 年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内國汽船</th> <th>外國汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>292</td> <td>13</td> <td>2,626</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>238,903</td> <td>20,270</td> <td>331,303</td> </tr> </tbody> </table>		内國汽船	外國汽船	船舶總計	隻 數	292	13	2,626	總噸數	238,903	20,270	331,303
	内國汽船	外國汽船	船舶總計											
隻 數	292	13	2,626											
總噸數	238,903	20,270	331,303											

木
53

頁	行	記 事									
188	26	182頁参照、ノ次ニ次ノ通追加ス 水先入口之津沖合ニテ乗船ス港外ニテ乗船スル場合ニハ通例住ノ江川河口黒色浮標附近ニ於テス、潮時ニ依リテハ此ノ附近ニ假泊シテ乗船ヲ待ツヲ要ス。									
	28	第1ヲ第1巻及第2ト改ム									
189	13次	* 次ノ通追加ス 大川町 若津、榎津及附近村落ヲ併合セルモノニシテ人口14,886(昭和10年國勢調査)ヲ有シ町役場、郵便局、警察署、稅務署、稅關監視署等アリ。									
190至193	欄外	海圖172ヲ追加ス									
190	3至9	* 次ノ通改ム 移出 主ナル移出品ハ菜子油、米、罐詰等ニシテ移入品ハ金屬及同製品、木材等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>869</td> <td>2,844</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>80,300</td> <td>122,664</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻數	869	2,844	總噸數	80,300	122,664
	汽船	船舶總計									
隻數	869	2,844									
總噸數	80,300	122,664									
12		* 大正14年以下ヲ人口104,992(昭和10年國勢調査)ニ達セリト改ム									
	21次	次ノ通追加ス 大牟田川ノ河口ハ目下修築工事中ニシテ其ノ北岸硫酸工場ノ西方ノ埋立ハ完了シ、南岸ハ埋立中ニシテ船溜築設ノ豫定ナリ。									
	22	宮之原、勝立、七浦、大浦、ヲ削除ス									
	23	7坑ヲ3坑ト改ム									
	28次	* 次ノ通改ム 官憲等 市役所、2等郵便局、警察署、稅務署、稅關支署等アリ。 大牟田航空燈臺 大牟田市ノ北方約2.5哩黑崎東方山頂至近ニ設ク。									
191	1	大牟田市ノ南西方約2哩ノヲ削除ス									
	8	1.5哩ヲ3軒ト改ム									
	21至24	* 次ノ通改ム 内港ヨリ船渠ニ至ル水路ノ北側ニ三井鑛山株式會社三池港務所アリ屋上ニ在ル信號杆ニ錨地指定、潮汐(高潮ノ持續期及水深)竝ニ船舶信號ヲ掲揚ス(水路誌附録第2巻參照)◎又上記水路ノ西端南角附近ニ驗潮所アリ、10餘年前									

頁	行	記 事												
		ヨリ驗測ヲ續行シ之ヲ基礎トシテ三池港務所ニ於テ潮汐表ヲ編纂シ實用ニ供シツツアリト謂フ。												
192	2	ナリト云フ、ノ次ニ次ノ通追加ス 移動起重機、捲揚力量3噸及15噸ノモノ各1臺アリ、												
	19	内港ヨリ以下ヲ次ノ通改ム 南突堤延長線上ノ北半ハ水深10.7米ニ、南半ハ水深9.5米ニ浚渫シアリ、港内南西部ニ4箇ノ浮標アリ。												
	24	末尾ニ次ノ通追加ス ◎深吃水船ハ出入ニ際シ高潮時ヲ待ツヲ要アリ。												
	26	煙突ノ次ニ及船渠閘門南側ニ在ル發電所ヲ追加ス												
193	10次	次ノ通追加ス 突堤照明燈 北突堤上ニハ燈臺位置ニ於ケル第1號ヨリ内港ニ近キ第13號ニ至ル7箇ノ奇數番號照明燈、又南突堤ニハ第2號ヨリ第12號ニ至ル6箇ノ偶數番號照明燈ヲ設ケ夜間船舶出入時ノミ突堤ヲ照射ス、何レモ不動白光電燈ニシテ突堤以外ヲ照射セズ燈高13米。												
	13至14	荷役不能ナリト云フ。ヲ次ノ通改ム 特許ヲ得レバ荷役可能ナリト雖モ四大節ニハ特許セザル方針ナリ又當港ハ三井物産ノ常備人夫ニ限ル關係上他動的ニ荷役ニ支障ヲ來スコトナシト謂フ。												
193至194	18至1	* 次ノ通改ム 貿易 主ナル輸出品ハ石炭、藥品、染料、塗料等ニシテ輸入品ハ機械類、亞鉛、砂糖、石炭等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内國汽船</th> <th>外國汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>1,288</td> <td>669</td> <td>2,419</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>631,196</td> <td>2,461,754</td> <td>3,147,851</td> </tr> </tbody> </table>		内國汽船	外國汽船	船舶總計	隻數	1,288	669	2,419	總噸數	631,196	2,461,754	3,147,851
	内國汽船	外國汽船	船舶總計											
隻數	1,288	669	2,419											
總噸數	631,196	2,461,754	3,147,851											
		水先 水先事務所ハ大牟田市鹽屋町111ニ在リ、三池外港或ハ口之津ニ於テ乗船ス(第182頁參照)。 船渠ノ出入ニ關シテハ三井鑛山株式會社三池港務所ノ船渠長必要ナル助力ヲ爲ス、但シ其ノ責ニ任ゼズ(水路誌附録第2巻參照)。												
194	4至5	三池港取締規則以下ヲ次ノ通改ム (水路誌附録第1巻參照)、三池港取締規則(福岡縣)、潮信信號、錨地信號、船舶信號、水先料、港錢徵收規則、三井船渠出入船舶規則、同港取締規則												

木
53

頁	行	記 事
194	6至8 24次	(熊本縣)アリ(水路誌附録第2卷参照)。 削除ス 次ノ通追加ス 百貫石潮害碑燈竿 百貫石港權現山西方ニ「コンクリート」造記念塔「潮害碑」アリ、白色電燈ヲ點ズ、燈高64米◎暴風雨警報用トシテ別ニ紅色燈3箇アリ。 熊本放送局 放送用私設無線電話局ニシテ熊本市外清水村龜井灰塚ニ送信所アリ(水路誌附録第5卷参照)。
195 196 195	欄外 6	海圖194 ヲ追加ス 末尾ニ次ノ通追加ス ◎夏季大雨後ハ島原海灣北部ヨリノ雨水ノ爲水量加ハリ大瀬戸ノ落潮流ノ速サヲ増シ三角燈臺下海岸ニ沿ヒ西方ヘ流ルルモノ相當強キ爲同方向ニ壓流セララルル危險アルベキヲ以テ同季大潮ノ落潮時ノ大瀬戸通過ハ特ニ注意ヲ要スト謂フ。
	23次	次ノ通追加ス 昭和6年澤太汽船會社汽船惠須取丸ノ報告ニ依レバ同船際崎ノ出入港ニ當リテハ三角瀬戸ノ同港高低潮時ノ1時間前ニ通過スルヲ常トシ同時刻頃ハ潮流直前ト覺シク高低潮時ノ40分前トナレバ既ニ轉流後ト爲ルヲ認ム、之ハ春、夏、秋各季ニ於テ同船ノ數回經驗セル所ニシテ同地方ニ於テハ四季ヲ通ジテ同瀬戸ノ轉流時ヲ同港高低潮時ノ1時間前ト概算シ又各船共出入港ノ際此ノ時刻ヲ選ビ居ルヲ聞知セリト謂フ。
	26次	次ノ通追加ス 登立無線電信局 大矢野島登立村ニ在リ遞信省所管ノ固定局ニシテ對手局ハ湯島、維和ノ2局ナリ(水路誌附録第5卷参照)。
196	9次	次ノ通追加ス 水道ハ狹隘ニシテ見透シ惡シキヲ以テ憩流時ニ減速シテ通過スルヲ可トス、南下ノ際ハ「ウシコロビ」鼻附近ハ注意ヲ要スル處ナリ、目下航路ノ安全ヲ期セムガ爲中神島西部及「ウシコロビ」鼻ノ一部開鑿工事中ナリ◎三角燈臺ノ後方柴尾山頂ニ展望臺アリ。 南方ヨリ藏藏ノ瀬戸ヲ通過シ三角ニ入港スル場合ニハ同瀬戸外方ニ近ヅクニ從ヒ「イダ」瀬上ノ1軒家ト玄能島上ノ松林トヲ一線ニ見テ(此ノ線ヨリ片島側ニ寄ラザル程度ニ)航行シ藏藏村落北岸ヲ左舷正横ニ見ル頃ヨリ變針シ

頁	行	記 事
196	10 12 13 14 15 16	テ網取瀬ヲ避航シ、寺島燈標ト兜島トノ中間ニ向ヒ同燈標ヨリ△70米山ニ向首ノ後適宜錨地ニ向フベシ。 三角港 ノ次ニ(海圖194)ヲ追加ス 末尾ニ次ノ通追加ス 昭和7年度起工8箇年繼續事業トシテ港灣修築中ナリ。 人口約5,500アリ、ヲ削除ス 末尾ニ次ノ通追加ス 南方際崎ニモ市街アリ。 次ノ通改ム 從來船舶ハ三角市街ノ前面水深10米内外ノ處ヲ錨地ト爲セシガ地域狹ク潮流強ク且水深キ缺點アル爲現在ハ此ノ區域(三角本港)ヲ使用セズ際崎側海面ヲ以テ一般船舶ノ碇泊地ニ充テ海陸ノ設備亦際崎ニ移サレタリ(汽船5,000噸級9隻ヲ收容シ得ト謂フ、目下合戦崎、際崎地先間ニ繫船設備及倉庫等工事中ナリ)◎小形船舶ハ必要ニ應ジ三角市街ノ對岸 末尾ニ次ノ通追加ス ◎昭和6年4月14日軍艦夕張ハ三角燈臺ノ36度1,300米ニ投錨セシガ同艦ノ經驗ニ據レバ投錨目標トシテハ三角嶽ハ高キニ過ギテ適當ナラズ三角燈臺及瀬戸ノ鼻(39△)ヲ適當トシ猶潮流強キ場合ニハ同燈臺ニ向首投錨スルヲ可トスベシト謂フ。 際崎泊地ハ合戦崎、野崎及白瀬ニテ包マレ水深約15米、底質泥ニシテ錨搔キ良シ又潮流ノ影響少キヲ以テ安全ナル錨地ナリ、唯夏季南西風強吹スルトキハ荷役不可能ト爲ルコトアリ、港内汽船5-6隻輻輳スルコトアルヲ以テ双錨泊ヲ可トスト謂フ。
	18	棧橋 際崎海岸三角驛附近ニ九州汽船會社ノ浮棧橋1基アリ長サ66米、水深2米◎合戦崎ノ西方約130米ノ處ニ木造棧橋1基アリ。 1 哩 ヲ 1 鏈 ト改メ 2.5 哩 ヲ 2.5 鏈 ト改ム
	22次	次ノ通追加ス 荷役設備 舢舨約100隻(3,000噸)アリ、陸上ノ起重機能力現在ハ約3噸ナリト謂フ◎倉庫ハ三角市街側ニ民營10棟(404坪)、際崎側ニ民營11棟(450坪)アリ。 荷役休止日 四大節ハ特許セズ其ノ他ノ祝祭日、日曜、12月31日ハ特許ヲ得レバ荷役可能ナリ又地方的習慣ノ爲荷役不能ノ日ナシト謂フ。

木
53

頁	行	記 事												
196	23至24	次ノ通改ム 補給 際崎側ニ於ケル物資補給ノ概況下ノ如シ。 石炭 當港出入船ハ多ク三池ニテ補炭ス、特ニ注文スレバ三池ヨリ回送ス。 清水 上水道アルヲ以テ多量ノ供給ヲ爲スコトヲ得、給水船(25—30噸積)3隻アリ。 生糧品 米、魚、野菜其ノ他一般ノ食料品ヲ供給シ得。 * 次ノ通改ム												
196 197	25 6至	貿易 主ナル輸出品ハ木材、「セメント」ニシテ輸入品ハ豆粕、磷礦石、大豆、小豆等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内國汽船</th> <th>外國汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>6,716</td> <td>24</td> <td>21,265</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>1,663,282</td> <td>54,607</td> <td>1,997,229</td> </tr> </tbody> </table>		内國汽船	外國汽船	船舶總計	隻 數	6,716	24	21,265	總噸數	1,663,282	54,607	1,997,229
	内國汽船	外國汽船	船舶總計											
隻 數	6,716	24	21,265											
總噸數	1,663,282	54,607	1,997,229											
197	8次	次ノ通追加ス 九州西鮮大連線ノ定期船寄港ス。												
	10	182頁參照 ノ次ニ 水先人ハ早崎瀬戸ニテ乗船ス。ヲ追加ス												
	11	第1卷 ノ次ニ 及第2卷 ヲ追加ス												
	12次	* 次ノ通追加ス 官憲等 三角ニハ町役場、警察署、郵便局、際崎ニハ郵便局、税關支署、水上巡查派出所等アリ◎三角町ノ人口6,787(昭和10年國勢調査)アリ。												
199	欄外	206 ヲ 208 ト改ム												
	4	船人島ト ノ次ニ ノ間 ヲ追加ス												
200	12次	次ノ通追加ス 北西岸ノ赤崎村ハ天草上島ノ首邑ニシテ郵便局、警察署等アリ、又目下船溜築造中ナリ。												
	24至25	* 6,251(大正14年國勢調査) ヲ 11,795(昭和10年國勢調査) ト改ム												
	25	區裁判所 ノ次ニ 警察署、中學校、女學校 ヲ追加ス												
201	3次	* 次ノ通追加ス 移出入 主ナル移出品ハ生絲、繭、陶磁器等ニシテ移入品ハ肥料、絹、綿織物、酒類等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。												

頁	行	記 事									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>4,868</td> <td>16,048</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>371,280</td> <td>487,701</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	4,868	16,048	總噸數	371,280	487,701
	汽船	船舶總計									
隻 數	4,868	16,048									
總噸數	371,280	487,701									
201	6	末尾ニ次ノ通追加ス ◎又本渡町ノ北方佐伊津村字城廻ト湯島瀬戸ヲ隔テタル對岸西有家町字松原トノ間ニ水底電線1條ヲ敷設シ、兩陸揚地ヨリ沖合2・2哩迄ハ線條ノ左右各40米以内、其ノ他ハ180米以内、佐伊津側ハ陸揚地ヨリ沖合1,200米ニ至ル間ニ限リ各25米以内ヲ以テ線路區域ト指定シアリ。 6次 * 次ノ通追加ス									
		鬼池港 天草下島ノ北東端ニ位シロ之津港ト對シロ之津鐵道開通以來同港トノ交通頻繁ナル、村落ノ北東方ニ防波堤アリ小形船ノ船溜ヲ形成ス◎鬼池ニ郵便局アリ、天草島各地ニ乗合自動車ノ便アリ。 鬼池港防波堤燈臺 防波堤外端ニ設ク、紅塗圓形「コンクリート」造、燈高11・4米。									
	16	* 人口 以下ヲ次ノ通改ム 人口3,169(昭和10年國勢調査)、町役場、郵便局、警察署アリ。									
202	17	末尾ニ 郵便局アリ。ヲ追加ス									
203	4	大曾根 ノ次ニ (海圖192) ヲ追加ス									
	7	島原瀬 ノ次ニ (海圖192) ヲ追加ス									
	10	東方 ヲ 北東 ト改ム									
204	24	小灣ヲ形成ス ノ次ニ 目下港灣修築中ナリ ヲ追加ス									
	26	安全ニ泊スルコトヲ得 ノ次ニ次ノ通追加ス * 一般船舶ノ泊地ハ灣ノ中央部ナリ、水深約23米、底質灰色粘土細沙ニシテ錨搔キ概ネ良好ナルモ狹隘ニシテ西口ヲ除ク外、岩礁散在シ且水深比較的深キ爲南西乃至西ノ風濤アルトキハ不安ヲ感ズト謂フ、權現山ヲ92度、魚貫浦越浦鼻△(63)ヲ355度ニ見ル地點ハ水深約14米ニシテ炭坑積出棧橋ニ最モ近ク載炭ニ便ナリ、但シ荷役設備ハ不完全ニシテ1日ノ載炭量最高約400噸ナリト謂フ。									
		針路法 權現山△ヲ87度ニ見テ航進シ、「トノ」崎航過後魚貫ノ南西海岸ノ48米高地ニ向ヒ變針シ前記錨地ニ就ケバ諸險ヲ避ケ得ベシ。									
206	欄外	海圖200 ヲ追加ス									
207	欄外	海圖178 ヲ追加ス									

木
53

頁	行	記 事
207	8	長島 ノ次ニ (海圖 178) ヲ追加ス
	14	黒瀬戸ヨリ ノ次ニ 牛深港ノ對岸ニ在ル ヲ追加ス
208	欄外	海圖 178, 200 ヲ追加ス
	10	略低潮 (高潮) 時ヨリ ヲ次ノ通改ム 八代海ノ略低潮 (潮高) ヲリ八代海ノ
209 210 至	欄外	海圖 200 ヲ追加ス
209	10	* 末尾ニ次ノ通追加ス 古來漁港トシテ有名ニシテ近年漁業ノ發達ニ伴ヒ漁船ノ出入愈多ク農林省補助漁港ト指定セラレ港内ニ防波堤ヲ築造セリ。
210	6	33度 39分 ヲ 334度 ト改ム
	7	末尾ニ次ノ通追加ス ◎昭和6年4月16日軍艦夕張ハ臺場ノ鼻ノ 115度 960米ノ處ニ碇泊セシガ海潮流ノ影響少ク錨搔キ良好ナリシト謂フ。
	15次	次ノ通追加ス 針路法 針路 315度ヲ以テ勝崎ニ向首シ次ニ 295度ニテ臺場ノ鼻ニ向ヒタル後適宜錨地ニ就ケバ諸險ヲ避クルコトヲ得。
	17次	次ノ通追加ス 牛深港燈竿 牛深町北方茂串附近至天附附近間山頂ニ 5箇ノ燈竿アリ、何レモ塗裝セザル木柱ニシテ北ヨリ南ニ順次番號ヲ附シアリ。 第1號燈竿 茂串附近 礎上ノ高サ 8.5米、燈高 122米 第2號燈竿 長手鼻北西方 " " 98米 第3號燈竿 " " " 58米 第4號燈竿 長手鼻附近 " " 48米 第5號燈竿 天附附近 " " 9.6米
	18至19	* 次ノ通改ム 補給 漁船用燃料及冷水ヲ得ラル、牛肉、魚類、疎菜類ハ豊富ニシテ、清水ハ上水道アルモ冬期ハ斷水ス。 (貼附訂正)
	19次	* 次ノ通追加ス 移出入 主ナル移出品ハ魚節、魚糟、鮮魚介等ニシテ移入品ハ石炭、米、木材等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。

頁	行	記 事
		汽船 船舶總計
		隻 數 593 16,048
		總噸數 98,420 1,753,793
210	22至23	* 人口 以下ヲ次ノ通改ム 人口 14,166 (昭和10年國勢調査)ニシテ町役場、郵便局、警察署等アリ。
213	24	郵便局 ノ次ニ 無線電信局、 ヲ追加ス
	24次	次ノ通追加ス 宮田無線電信局 遞信省所管ノ固定局ニシテ對手局ハ御所浦局ナリ (水路誌附録第5卷參照)。
215	24	御所浦 ヲ 兩地共 ト改ム
	25次	次ノ通追加ス 御所浦無線電信局 御所浦 [古屋敷]ニ在リ遞信省所管ノ固定局ニシテ天草上島宮田局ト交信ス (水路誌附録第5卷參照)。
216 217	欄外	海圖 170 ヲ追加ス
217	5	325度 6分 ヲ 約 235度 ト改ム
218	7次	次ノ通追加ス 神代錨地 (コウジロ) (海圖 170) 二間戸浦ノ南西海岸ニ神代アリ、其ノ東方海岸ニ在ル日ノ出「セメント」會社ノ前面岸壁ニハ 2,000 噸以下ノ汽船ヲ横付シ得、海面ニ繫船浮標 1 箇及横付船舶繫留用ノ浮標各 1 箇ヲ碇置シ岸壁ニ「セメント」搭載用「コンベヤー」アリ能力 1 時間平均 40 噸ナリ。 錨地ハ昭和9年8月寄港セル いんだす丸ノ經驗ニ依レバ丸山頂ノ 174度權現山頂 62度ノ處又ハ丸山頂ト權現山頂トヲ結ブ一線上ハ底質泥ニシテ適良ナリ、當錨地ニハ 4,000 噸級 2 隻或ハ 2,000 噸級約 3 隻碇泊シ得ベシ、沖積「セメント」搭載能力最大量 1 日 700 噸ナリト謂フ。
	10	水深 6 米内外ナリ ノ次ニ 姫浦ニ村役場、警察署及郵便局アリ ヲ追加ス
	23	末尾ニ ◎島内ニ郵便局及無線電信局アリ。 ヲ追加ス
	28次	次ノ通追加ス 維和無線電信局 千束島ニ在リ遞信省所管ノ固定局ニシテ對手局ハ登立、湯島ノ 2 局ナリ (水路誌附録第5卷參照)。
219	21	74度 47分 ヲ 75度 ト改メ 2分 ヲ削除ス
	23	ト云フ ノ次ニ 目下港灣修築中ナリ ヲ追加ス

木
53

頁	行	記 事									
219 220	28 6至	* 次ノ通改ム 移出入 主ナル移出品ハ「セメント」、米等ニシテ移入品ハ木材、石炭、鮮魚介、酒等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>4,562</td> <td>16,802</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>228,100</td> <td>363,500</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	4,562	16,802	總噸數	228,100	363,500
	汽船	船舶總計									
隻 數	4,562	16,802									
總噸數	228,100	363,500									
220	7至8	* 人口 以下 區裁判所、迄ヲ次ノ通改ム 人口 13,946 (昭和10年國勢調査) ニシテ町役場、郵便局、警察署、稅務署、中學校、女學校、 15 此ノ島ノ ヲ 此ノ島ハ ト改ム									
221	10	* 5,276 (大正14年國勢調査) ヲ 5,848 (昭和10年國勢調査) ト改ム									
	17	5 哩6.5 鏈 ヲ 約6 哩 ト改ム									
	20	田浦灣 ノ次ニ (海圖174) ヲ追加ス									
	21至22	* 北側ニ田浦村大字田浦町アリ人口約3,000 ヲ次ノ通改ム ノ田浦村ハ人口6,630 (昭和10年國勢調査)									
222	6,7,8	白神岩 ヲ 白神瀨 ト改ム (4 箇所)									
	13	* 8,507 (大正14年國勢調査) ヲ 8,865 (昭和10年國勢調査) ト改ム									
	14至15	又北岸 以下 上陸ニ便ナリ 迄ヲ次ノ通改ム 北岸計石 (ハカリイシ) ノ丘上ニ地方暴風標アリ、又計石ハ目下港灣修築中ニシテ防波堤アリ上陸ニ便ナリ 16 ◎北岸ノ丘上ニ地方暴風標アリ。 ヲ削除ス									
223	17至19	次ノ通改ム 水俣川 (ミナマタ) 水俣川ハ佐敷灣ノ南西方約6 哩ニ於テ水俣町ヲ貫流シ2 派ニ分岐シ海ニ入ル、河口外ハ灣形ヲ成スモ低潮ニハ全部干出スルヲ以テ船舶ハ此ノ灣外ニ錨泊セザルベカラズ、高潮時ニハ小舟ノミ遡リ得。 20 ニハ小舟ハ浜リ得ベシ◎ ヲ 水俣町 ト改ム 21 * 23,769 (大正14年國勢調査) ヲ 27,693 (昭和10年國勢調査) ト改ム 24 此ノ地 ヲ 水俣町 ト改ム 26次 * 次ノ通追加ス 水俣港 水俣町ノ南西方3 哩明神崎南方ノ小灣ナリ、目下港灣修築中ニシテ防波堤、荷揚場、岸壁等ヲ築設シ港内ノ水深ヲ1—6.5 米ニ浚渫中ナリ、									

頁	行	記 事									
		水俣町トノ中間ニ水俣驛アリ。 移出入 主ナル移出品ハ硫酸「アンモニア」、藥品、木材等ニシテ移入品ハ硫化礦石、石炭等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>268</td> <td>5,671</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>148,200</td> <td>256,102</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	268	5,671	總噸數	148,200	256,102
	汽船	船舶總計									
隻 數	268	5,671									
總噸數	148,200	256,102									
223	27	次ノ通改ム 地方暴風標 水俣川河口ノ西方丸島村落ノ西隣ナル高サ 40 米ノ丘上ニ在リ。									
	28	圓錐形山ノ南西側海岸ニ在ル丸島村ハ ヲ 丸島村落前面ニ ト改ム									
224	2	水俣浦 ヲ 上記40 米丘 ト改ム									
	5至7	次ノ通改ム 梅戸港 二子島ト明神崎トノ間ニ在ル小灣ニシテ港口南角ニ防波堤アリ、其ノ東方ニ繫船岸、倉庫3 棟等アリ、岸壁ニハ移動式電動起重機1 臺アリ、水俣工場トハ約5 鏈隔タリ其ノ間ニ運搬用軌道アリ、港内水深6—9 米ニシテ底質泥沙ナリ、岸壁ニ沿ヒ水深3.5 米内外ノ處アリ又捨石アルヲ以テ注意ヲ要スト謂フ、港口ハ北西ニ暴露スルヲ以テ北西風強キトキハ警戒ヲ要ス、岸壁ハ全長約140 米アルモ中部屈曲セリ、從ツテ3,000 噸以上ノ船舶ハ前部又ハ後部半身ノミヲ横付シ尙低潮時ニハ水深ノ關係上岸壁ヨリ3—4 米離スヲ要スル不便アリト謂フ、1,000 噸級汽船ハ2 隻繫船シ得ベシ、入港最大船ノ記録ハ3,600 噸ナリ。 發電所ハ入港目標トシテ顯著ナリ夜間ノ目標トシテ岸壁背後ノ丘上ニ電燈 (750 燭光) 1 箇アリ。 水先人、曳船等ナシ夜間ノ出入港ハ殆ド不可能ナリト謂フ。 大日本窒素肥料會社ノ専用港ニシテ輸出品ハ主トシテ肥料及其ノ副産物等ナリ、主ナル輸入品ハ石炭原礦等ナリ。 昭和6 年出入港船舶ハ1,708 隻ニシテ、内汽船ハ229 隻ナリ。 清水ハ會社ノ水道ヨリ供給ス但シ設備不完全ナリト謂フ。									
	8至10	次ノ通改ム 明神崎 二子島ヨリ南西方約5 鏈ニ於テ南西方へ突出セル狹長卑低ノ岩角ニシテ梅戸港ト水俣港トノ境界ヲ成ス。									

木
53

頁	行	記 事									
225	6	◎ ノ次ニ 南防波 ヲ追加ス									
	6次	次ノ通追加ス									
		米ノ津北防波堤燈臺 北防波堤端ニ在リ、白塗四角形鐵造槽、燈高9・4米。									
	8至9	* 人口 以下 稅務署等アリ 迄ヲ次ノ通改ム 人口14,826(昭和10年國勢調査)ヲ有シ町役場、郵便局、水上巡査派出所アリ。									
	11至12	20行ノ次ニ移ス									
	18次	* 次ノ通追加ス									
		移出入 主ナル移出品ハ木材、木炭、米等ニシテ移入品ハ海産物、「セメント」等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>2,023</td> <td>3,960</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>25,272</td> <td>59,052</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	2,023	3,960	總噸數	25,272	59,052
	汽船	船舶總計									
隻 數	2,023	3,960									
總噸數	25,272	59,052									
	20	末尾ニ ◎此ノ地ニ目下船溜築造中ナリ。 ヲ追加ス									
226	1至2	削除ス									
	7	末尾ニ ◎南口東濱ノ黒ノ濱ニ地方暴風標アリ。 ヲ追加ス									
	12	* 1・5 鏈 ヲ 2・5 鏈 ト改ム									
	13	1 條 ヲ 2 條 ト改ム									
227	4	戸崎 ノ次ニ 鼻 ヲ追加ス									
228	10	* 人口 以下ヲ次ノ通改ム 人口24,083(昭和10年國勢調査)ヲ有シ町役場、郵便局、警察署、專賣局出張所、									
229	28次	* 次ノ通追加ス									
		川内航空燈臺 川内町南西方約4・5哩辨才天山頂至近ニ設ク。									
230	3	末尾ニ 郵便局アリ。 ヲ追加ス									
	10	及西方ハ2乃至3鏈 ヲ 5鏈、西方2鏈 ト改ム									
	13	末尾ニ ◎串木野ハ目下港灣修築中ナリ ヲ追加ス									
	15	23分 ヲ削除ス									
	16	22分 ヲ削除ス									
	19	(ゴセ) ヲ (コセ) ト改ム									

頁	行	記 事									
230	24	* 串木野 ノ次ニ 町 ヲ追加ス									
	25	* 村内 ヲ 町内 ト改ム									
	25	末尾ニ 郵便局及停車場アリ。 ヲ追加ス									
231	1	鼻 ヲ 端 ト改ム									
	4,5	13分 ヲ削除ス									
	8	末尾ニ 停車場及 ヲ追加ス									
	10次	* 次ノ通追加ス									
		移出入 主ナル移出品ハ燒酎、醬油、米等ニシテ移入品ハ機械油、鮮魚介、魚節等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>1,063</td> <td>1,063</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>40,390</td> <td>40,390</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	1,063	1,063	總噸數	40,390	40,390
	汽船	船舶總計									
隻 數	1,063	1,063									
總噸數	40,390	40,390									
232	15	末尾ニ次ノ通追加ス 片浦ハ農林省指定漁港ニシテ目下港灣修築中ナリ。									
233	15	錨泊地ナリ ヲ 錨泊地ニシテ目下港灣修築中ナリ ト改ム									
	17	末尾ニ 郵便局アリ。 ヲ追加ス									
234	欄外	189 ヲ削除ス									
235	8至9	* 其ノ附近 以下 ◎ 迄ヲ次ノ通改ム 下飯村ノ主村落ナリ、下飯村ハ手打ノ外長濱、青瀬、片之浦及瀬々浦等ノ村落ヲ含ミ人口總計12,152(昭和10年國勢調査)アリ◎手打ニ於ケル									
236 239至	欄外	海圖209 ヲ追加ス									
236	17	ニ長濱アリ。 ヲ ノ長濱ニ郵便局アリ。 ト改ム									
	19	内ノ沙丘上ニ村落アリ、 ヲ 灣首ノ青瀬ニ郵便局アリ、 ト改ム									
237	1	* 標信旗 ヲ 回答旗 ト改ム									
238	23	多岩アリ ヲ 岩多シ ト改ム									
	28	距濱 以下 又 迄ヲ次ノ通改ム 浦ノ中央ヲ通ジ水底電線敷設シアルヲ以テ適當ナル 錨地ヲ求ムルコト難シ、									
239	4	村役場 以下ヲ次ノ通改ム 村役場、郵便局、警察署アリ、又漁港トシテ目下船溜工事中ナリ。									
240	22	航通 ヲ 通航 ト改ム									

木
53

頁	行	記 事
241 243至	欄外	189 ヲ 1222 ト改ム
241	14	投鉛 ヲ 測深 ト改ム
243	24	村落アリ ノ次ニ 郵便局アリ ヲ追加ス
244 245	欄外	189 ヲ 192 ト改ム
244	9	久志ニ ノ次ニ 村役場 ヲ追加ス
	24	松島 ノ次ニ (大瀬島ノ東方ニ在リ高サ15米) ヲ追加ス
246 247	欄外	189 ヲ 1222 ト改ム
246	13	側 ヲ 測 ト改ム
246 247	15 4至	* 次ノ通改ム
		枕崎漁港 枕崎市街ノ南西方ニ3箇ノ防波堤ヲ築造シ主トシテ漁船ノ碇繋場トス◎東防波堤ハ市街ノ南端附近ヨリ西方ニ突出スルコト約141米、西防波堤ハ市街西方海岸ヨリ起リ南走約130米ニシテ南東方ニ折レ更ニ約210米延長ス、島堤ハ東防波堤ノ西方ニ在リ長サ約94米、港口幅ハ東西防波堤間ニ於テ約45米アリ、港内ニ繋船岸壁(水深2.5米)及魚揚場アリ、舊防波堤ハ東防波堤ノ南端附近ヨリ北方ニ延出スル長サ約550米ノ小防波堤ナリ。
		市街ノ西方ニ花渡川(小湊川)アリ、高潮平波ノトキ小舟ヲ入ルベシ。
		枕崎港島堤燈臺 島堤西端ニ在リ、圓筒形「コンクリート」造、燈高12米。
		枕崎燈竿 漁業組合ノ無線電柱(南方ノモノ)ノ頂ニ設ク、鼠色塗樞式鐵造塔、燈高35米。
		目標 漁業組合ノ無線電柱、測候所、同構内暴風標、西防波堤内端西方ノ草垣島燈臺吏員退息所及同構内無線電柱等ハ好目標ナリ。
		枕崎町 人口28,000(昭和10年國勢調査)町役場、郵便局、警察署、測候所、水産學校、水産試験場、女學校及水難救濟所アリ。
		交通 南薩鐵道ハ枕崎町ヲ起點トシ加世田ヲ經テ伊集院ニ至リ省線ト連絡ス、又枕崎山川港間ニ鐵道省經營ノ定期乗合自動車アリ。
		私設無線電信及電話 枕崎漁業組合ニ私設無線電信及電話アリ漁業用トス。
		移出入 主ナル移出品ハ鰹節、鑛石等ニシテ移入品ハ米、木材、石油、鹽等ナリ。
		昭和9年出入港船舶總數 汽船 5,396隻(188,540噸) 帆船 14,321隻(89,025噸)

頁	行	記 事									
		ナリ。 (貼附訂正)									
247	25至26	次ノ通改ム ル、此ノ岬ヨリ稍離レタル東西兩側ニ於テハ200米等深線ハ距岸約5哩ニ存在スルニ反シ此ノ岬附近ニ在リテハ距岬僅ニ1哩ノ處モ既ニ水深200米ヨリ深シ。									
248 250至	欄外	189 ヲ 1221, 1222 ト改ム									
248	14	247頁 ヲ 上掲潮流及海流ノ記事 ト改ム									
249	9至19	削除ス									
250	1	15分 ヲ削除ス									
	3	此ノ地ニ ノ次ニ 村役場、郵便局及 ヲ追加ス									
	16次	次ノ通追加ス									
		小根占及大根占 小根占崎附近ハ肝屬郡小根占村ニ屬シ川北ニ村役場、郵便局アリ、大根占村ハ其ノ北方ニ位シ馬場ニ村役場、城元ニ郵便局、警察署及地方暴風標アリ、馬場、城元ノ前面ヲ城ヶ崎港ト稱ス◎灣内航路船ハ川北、馬場ニ寄港ス。									
17至28		* 次ノ通改ム									
		高須及古江 大根占ノ北方約6哩ニ高須ナル1邑アリ、其ノ北方3.5哩ニ古江アリ、兩地ニ郵便局アリ◎古江ハ此ノ沿岸最良ノ上陸地ニシテ突堤内ノ水深1.3米アリ、高須及古江ハ灣内航行船ノ寄港地ニシテ高須ニハ目下船溜築造中ナリ◎古江ヲ起點トスル大隅鐵道ハ高須ヲ經テ北東方鹿屋(カノヤ)ニ到リ更ニ東折シテ串良ニ達ス。									
		移出入 古江港ニ於ケル主ナル移出品ハ米、木材、葉煙草、生絲等ニシテ移入品ハ藥品、石炭等ナリ。									
		昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻數</td> <td>3,397</td> <td>4,476</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>280,671</td> <td>324,515</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻數	3,397	4,476	總噸數	280,671	324,515
	汽船	船舶總計									
隻數	3,397	4,476									
總噸數	280,671	324,515									
251 252	欄外	189 ヲ 1201 ト改ム									
251	27	山川港 ノ次ニ (海圖1201) ヲ追加ス									
252	5	末尾ニ次ノ通追加ス ◎灣内航路船毎日寄港ス。									

木
53

頁	行	記 事									
252	5次	* 次ノ通追加ス 移出入 主ナル移出品ハ鱈節、鮮魚介、甘藷等ニシテ移入品ハ米、石油、肥料、綿織物等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>1,443</td> <td>1,851</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>47,223</td> <td>49,426</td> </tr> </tbody> </table> 山川港鵜瀬燈標 鵜瀬上ニ在リ、紅塗圓形「コンクリート」造、燈高10米。 		汽船	船舶總計	隻 數	1,443	1,851	總噸數	47,223	49,426
	汽船	船舶總計									
隻 數	1,443	1,851									
總噸數	47,223	49,426									
10		* ◎鵜瀬ニ立標アリ ヲ削除ス									
20		末尾ニ次ノ通追加ス ◎水道アリ港ノ西岸成川ノ北方ニ在ル北元石油店出張所ニ船舶給水設備アリ。									
21		* 次ノ通改ム 人口12,356(昭和10年國勢調査)ヲ有シ町役場、郵便局及水上巡查派出所アリ。									
24		部落アリ ノ次ニ次ノ通追加ス 郵便局アリ灣内航路船寄港ス									
253	欄外	海圖221, 189 ヲ 海圖1201, 221, 214 ト改ム									
254 258至	欄外	189 ヲ 214 ト改ム									
254	20至21	次ノ通改ム 暴風標 港務所北隅至近ニ暴風雨標アリ、水上警察署構内ニ地方暴風標アリ。									
255 256	4 1至	次ノ通改ム 北防波堤燈臺 北防波堤南端ニ在リ、紅塗、上部鐵造六角形槽形、下部「コンクリート」造四角形、燈高15米。 南防波堤燈臺 南防波堤北端ニ在リ、白塗、上部鐵造六角形槽形、下部「コンクリート」造四角形、燈高15米。 新波止場北燈竿 新波止場ノ北端ニ在リ、四角形槽形鐵造、燈高15米。 挂燈浮標 南防波堤燈臺ヨリ142度約6鏈ニ在リ、黒塗圓筒形上部槽形鐵造ニシテ燈高水面上3米。									
256	3	商船學校 ヲ 商船水産學校 ト改ム									

頁	行	記 事												
256	4	末尾ニ次ノ通追加ス 夜間市街中央ニ在ル山形屋百貨店尖塔ノ電飾ハ顯著ナリ。												
16至19		東側200米 以下ヲ次ノ通改ム 東側221米、同北側90米、洲崎町ヨリ住吉町ニ至ル沿岸埋立地前面北方へ390米ノ間ハ3米護岸ヲ設ケ200噸汽船ノ接岸荷役ニ、其ノ北方220米ノ間ハ7.5米岸壁ヲ築造シ3,000噸級船舶ノ接岸繫留ニ便ナラシム。												
20至27		次ノ通改ム 上記ノ計畫ニ基キ昭和9年工事完成シ目下陸上設備工事中ナリ。 棧橋 港務所前面ノモノハ「コンクリート」造浮棧橋ニシテ大形船ノ繫留用ニ充ツ◎南方ニ在ル棧橋ハ在來ノ1號棧橋ヲ移設シタルモノニシテ小形船舶ノ繫留用ニ供ス。												
257	1	次ノ通改ム 雖モ特許ヲ得レバ此ノ限ニ在ラズ、但シ四大節ハ特許セズ。												
6至18		* 次ノ通改ム 貿易 主ナル輸出品ハ木材及魚節等ニシテ輸入品ハ獸骨、飼料、大豆、豆粕等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>内國汽船</th> <th>外國汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>10,947</td> <td>88</td> <td>21,180</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>722,506</td> <td>128,491</td> <td>1,019,464</td> </tr> </tbody> </table> 鹿兒島放送局 放送用私設無線電話局ニシテ鹿兒島市天保山町ニ鹿兒島放送局アリ(水路誌附録第5卷參照)。 交通 遞信省及鹿兒島縣命令航路船ノ鹿兒島ニ出入スルモノ次ノ如シ。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 鹿兒島那覇線 鹿兒島ヲ起點地トシテ航海ス。 (2) 鹿兒島種子島線 鹿兒島ヲ起點地トシテ航海ス。 (3) 五箇島線 寄港ス。 (4) 十島線 鹿兒島ヲ終點地トシテ航海ス。 以上ノ外自由定期航路トシテ大阪鹿兒島線、大島各島線、灣内航路船等アリ。 		内國汽船	外國汽船	船舶總計	隻 數	10,947	88	21,180	總噸數	722,506	128,491	1,019,464
	内國汽船	外國汽船	船舶總計											
隻 數	10,947	88	21,180											
總噸數	722,506	128,491	1,019,464											
19		鐵道ハ 以下 門司ニ達ス 迄ヲ次ノ通改ム 省線鹿兒島本線、日豐本線、肥薩線ノ終端驛ニシテ指宿線ハ喜入ヲ經テ指宿ニ到ル。												

水
53

頁	行	記 事
257	21至25	次ノ通改ム 鹿兒島無線電信局 送信所ハ市ノ北方吉野村ニ又受信所ハ市内山下町ニ在リ、固定局トシテ東京大阪臺北那覇久慈ト交信シ又海岸局トシテ一般船舶ト交信シ併セテ海上氣象電報式ニ依リ氣象放送ヲ行フ（水路誌附録第5卷參照）。
	26至28	* 次ノ通改ム 水底電線 鹿兒島市ノ北方吉野町花倉及磯ヨリ對岸西櫻島村武及赤生原ニ至ル各1條ノ水底電線アリ又鹿兒島市ノ南方二軒茶屋ヨリ鹿兒島灣口東側大濱ヲ經テ種子島及奄美大島ニ至ル各1條ノ水底電線アリ。
258	1至2	鹿兒島港 以下ヲ次ノ通改ム （水路誌附録第1卷參照）、鹿兒島港取締規則、同港灣造營物使用料徴收條例、同徴收手續、縣修船場使用料徴收規則、同徴收手續アリ（水路誌附録第2卷參照）。
	5	* 124,734（大正14年國勢調査）ヲ 181,736（昭和10年國勢調査）ト改ム
	7	末尾ニ 市内ニ別格官幣社照國神社アリ。ヲ追加ス
	8至9	港務所 以下ヲ次ノ通改ム 1等郵便局、無線電信局、稅務署、專賣局、歩兵第36旅團司令部、聯隊區司令部、歩兵聯隊等ニシテ港灣水路關係ノモノハ港務所、稅關支署、測候所、水上巡查派出所等ナリ。
	22	末尾ニ 此ノ地ニ郵便局アリ。ヲ追加ス
	23	* 加治木ニ地方暴風標アリ ヲ次ノ通改ム 加治木町ハ人口15,293（昭和10年國勢調査）ヲ有シ此ノ地方ノ主邑ニシテ町役場、郵便局、警察署、稅務署、中學校、女學校等アリ又地方暴風標アリ。
259 260	欄外	189 ヲ 1221 ト改ム
260	11至12	不動白光燈 以下 150度間◎ 迄ヲ削除ス
261	欄外	海圖189,221 ヲ 海圖221,1221,185 ト改ム
	23次	* 次ノ通追加ス 内之浦港 内之浦灣内ニ在リ、廣瀨川河口ニハ防波堤、防沙堤及導水堤ヲ築造シ船溜アリ。 内之浦漁港燈臺 東方防波堤外端ニ設ク、構造白塗圓形「コンクリート」造、燈高8.4米。

頁	行	記 事
		福島港 （今町港） 灣内北濱中央福島川河口ニ在ル漁港ニシテ目下港灣修築中ナリ◎福島町ハ人口9,678（昭和10年國勢調査）、町役場、郵便局、警察署、女學校等アリ。
261	24	志布志及 ヲ 志布志、大崎村役場及 ト改ム
262	欄外	海圖189,221 ヲ 海圖185,1221 ト改ム
	2	* 末尾ニ次ノ通追加ス 但シ志布志町前面ニ於テハ本頁記載ノ險惡地アルヲ以テ注意ヲ要ス、猶長溝來襲スルトキハ特ニ志布志町前面ニ在リテハ錨泊中ト雖モ船體ノ動搖ヲ免レズ。
8至11		* 次ノ通改ム 險惡地 枇榔島ト志布志町西方中學校トノ連結線以東及枇榔島ト赤鼻トノ連結線以北ノ海面ハ海底岩礁多ク錨鎖擱ミ易ク錨泊ニ適セズ、又其ノ外方1,500米以内海面モ底質岩ノ箇所少カラズ。 （貼附訂正）
11次		* 次ノ通追加ス 志布志港導燈 低燈高燈ノ2箇ヨリ成リ低燈ノ紅光分弧ハ鯖瀬及「カマ」瀬（名稱圖載シアラス）等ノ危險區域ヲ標示ス。 低燈 權現島南東方防波堤南端ニ在リ、高サ9.1米ノ白塗六角形鐵造樽、燈高11米。 高燈 低燈ヨリ7.5度508米ニ在リ、高サ6.1米ノ紅塗竿柱、燈高58米。 志布志港口導燈 前燈後燈ノ2箇ヨリ成リ何レモ白塗菱形頭標附木造竿柱（塗裝セズ）ナリ。 前燈 權現島東方約360米ニ在リ、礎上ノ高サ7.6米、燈高9.4米。 後燈 前燈ヨリ27度40分100.4米ニ在リ、礎上ノ高サ7.6米、燈高17米。 志布志港針路法 志布志築港内ニ入港セントスル船舶ハ志布志ヲ距ル約148米ノ點ニ達セバ志布志港口導燈ノ前後兩燈（綠紅燈）ヲ一線ニ望ミテ進行スベシ、然ルトキハ南防波堤端ノ西方約25米ニ在ル暗礁ヲ避クルヲ得ベシ。 志布志港ノ修築 大正8年起工長サ227米ノ南防波堤、154.5米ノ西防波堤及288米ノ防沙堤ヲ築造セリ港内總面積22,030坪ニシテ水深ヲ4.5米ト1.2米トニ浚渫セリ。

水
53

頁	行	記	事
		移出入	主ナル移出品ハ木材、木炭、食鹽等ニシテ移入品ハ食鹽、肥料 礦油、鮮魚介等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
			汽船 船舶總計
		隻數	6,155 6,464
		總噸數	195,360 207,200
		目標	權現島西方約600米ニ導燈存在シ志布志港口東側鮪瀬ニ對スル避 險線ナリト謂フ尙下記ハ志布志町ニ於ケル顯著ナル目標ナリ
		(イ)	白色煙突 前川河口 S. Sig. Oヨリ 228 $\frac{1}{4}$ 度 400米
		(ロ)	同上 同上 250度 234米
		(ハ)	赤色煙突 同上 217度 138米
		(ニ)	警察署(著屋) 同上 293度 190米
262	12		(大正14年國勢調査) 迄ヲ削除ス
	16次		* 次ノ通追加ス
		志布志町	鹿兒島縣嚙嚙郡ニ屬シ灣内ノ主邑ニシテ人口19,548(昭和10 年國勢調査)ヲ有シ町役場、郵便局、警察署、專賣局出張所、中學校等アリ
			◎省線志布志線ハ都城ニ於テ日豊本線及吉都線ト連絡ス。
263 265至	欄外		海圖189ヲ海圖1221ト改ム
263	2		末尾ニ次ノ通追加ス
			港内浚渫及埋立作業完成シ小形船舶ニ對シ宮崎縣下第1ノ避難港ナリト謂 フ。
	13次		次ノ通追加ス
		大堂津港 (海圖181)	油津港ノ南西方ニ在ル漁港ニシテ港ノ東方海岸 ヨリ約西南西方ニ向ヒ長サ230米ノ防波堤、南西方海岸ヨリ約南東方ニ向ヒ 長サ250米ノ防沙堤アリ、此ノ地ニ郵便局アリ。
	23		乃至7・3ヲ削除ス
	24		飯崎以南トヲ飯崎トト改ム
263 264	27 4至		次ノ通改ム
		油津港導燈	低燈ハ港口西側飯崎上ニ在リ、白塗六角形煉瓦造、燈高42 米◎高燈ハ低燈ノ北方約1・5哩長崎鼻ニ在リ、白塗六角形石造、燈高92米。
264	9至12		* 次ノ通改ム
		油津港外防波堤燈臺	外防波堤先端ニ在リ、紅塗六角形槽形鐵造、下

頁	行	記	事
			部「コンクリート」造、燈高13米。
		油津港内防波堤燈竿	松ヶ鼻防波堤先端ニ在リ、白塗四角形「コンクリ ート」造、燈高11米。
		油津港物揚場燈竿	波止鼻埠頭先端ニ在リ、木柱ニシテ燈高5・2米。
264	15		次ノ通改ム
			鼻ニ埠頭アリ其ノ東方ハ岸壁及物揚場ナリ、尾伏鼻ノ北西方ヨリ西方ニ向フ 防波堤アリ、波止鼻岸壁附近浚渫中ニシテ石郷前面埋立改築中ナリ。
		航行禁止區域	尾伏鼻北方ノ防波堤工事區域ハ一般船舶ノ航行ヲ禁止セ ラル。
	18次		次ノ通追加ス
		目標	港灣監視所附近ニ在ル油津漁業組合私設無線電信所(JOY)ノ 高サ礎上約30米ノ鐵塔2基ハ顯著ナリ、其ノ北方至近ニ地方暴風標アリ、松 ヶ鼻防波堤ノ基部及中央屈曲部ニ白色「タンク」アリ。
	19		◎市街 以下ヲ次ノ通改ム
			◎水道アリ船舶ニ相當量ノ給水可能ナリト謂フ。
22至28			* 次ノ通改ム
		移出入	主ナル移出品ハ鮮魚介、木材、木炭、鯉節等ニシテ移入品ハ礦 油、金屬及同製品等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。
			汽船 船舶總計
		隻數	520 23,059
		總噸數	225,305 597,124
265	1		末尾ニ ◎縣營鐵道油津飮肥間ヲ運轉ス。ヲ追加ス
	1次		* 次ノ通追加ス
		油津町	人口9,871(昭和10年國勢調査)、町役場、郵便局、警察署及 地方暴風標アリ。
266 267	欄外		海圖189ヲ海圖1221ト改ム
267	1至11		次ノ通改ム
		内海港導燈	低燈ハ館落(3・8米)北方高サ2・4米岩△ヨリ北西方約4 鐘ニ在リ、白塗六角形「コンクリート」造、燈高12米◎高燈ハ低燈ヨリ北 西方約200米ニ在リ、鍍塗四角形鐵造槽、燈高42米。
		内海港防波堤燈臺	防波堤外端ニ在リ、白塗四角「コンクリート」造槽、

オ
5

頁	行	記 事									
267	13次	燈高10米。 * 次ノ通追加ス 移出入 主ナル移出品ハ生絲、木材、樟腦等ニシテ移入品ハ金屬及同製品、酒、衣類等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>358</td> <td>1,860</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>135,677</td> <td>153,361</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	358	1,860	總噸數	135,677	153,361
	汽船	船舶總計									
隻 數	358	1,860									
總噸數	135,677	153,361									
	14	郵便局 ノ次ニ 及地方暴風標 ヲ追加ス									
	15	◎鐵道ハ 以下ヲ次ノ通改ム ◎宮崎鐵道ハ内海ヨリ折生泊ヲ經テ大淀ニ至リ省線日豐本線ト連絡ス。									
	17	山下ニ鐵道アリ ヲ ニ近ク鐵道線路アリ ト改ム									
	21	此ノ瀬戸 ヲ 小戸ノ瀬 ト改ム									
23至24		不動白光燈 以下 至3度間◎ 迄ヲ削除ス									
268	欄外	海圖189 ヲ 海圖1220 ト改ム									
	9	經由ス、 ノ次ニ 村役場及 ヲ追加ス									
24至25		* 42,945(大正14年國勢調査) ヲ 64,726(昭和10年國勢調査) ト改ム									
25至26		大分及 以下ヲ次ノ通改ム 大分、宮崎、都城ヲ經テ鹿兒島ニ至ル。									
269 279至	欄外	海圖189,184 ヲ 海圖1220 ト改ム									
269	15次	次ノ通追加ス 都農港 美美津泊地ノ南方約5哩ニ在ル漁港ニシテ防波堤及導燈アリ◎ 此ノ地ニ郵便局アリ。									
	16	海圖184 ヲ 海圖1223 ト改ム									
	18	航入 ヲ 入港 ト改ム									
	22次	次ノ通追加ス 美美津港燈臺 龍神岩南端ニ在リ、白色八角形「コンクリート」造、燈高23米。									
270	8	184分圖 ヲ 1223 ト改ム									
	13次	次ノ通追加ス 昭和9年軍艦鳳翔ハ細島燈臺ノ37度2,000米ニ20日間碇泊セシガ、其ノ經驗ニ據ルニ北至西ノ風ハ完全ニ遮リ碇泊ハ安全ナリ、颱風沖繩附近ニ襲來セ									

頁	行	記 事									
		ルトキハ「ウネリ」大ニシテ碇泊ニ適セザリト謂フ。 港灣修築埋立工事一部完成シ鐵道引込線倉庫等ノ陸上設備アリ、埋立地ノ前面ニハ長さ約73米ノ新設浮棧橋アリ。									
270	20	行數ヲ示ス數字 0 ヲ 20 ト改ム									
	22	山ノ瀬 ヲ 山ヶ瀬 ト改ム									
271	1至5	次ノ通改ム 細島燈臺 港口南側ニ在リ、白塗六角形煉瓦造、燈高102米。 燈竿 細島港内棧橋上中央部及外端ニ各燈竿アリ、木造ニシテ燈高6.6米。									
	7	突端 ノ次ニ 及中央部 ヲ追加シ末尾ニ 大阪商船ノ棧橋アリ。 ヲ追加ス									
	8	細島町ハ 以下ヲ次ノ通改ム 細島町ニ水道アルモ船舶ニ對スル給水設備ナシ、北濱ノ溪流(番所鼻ノ對岸ニ圖載シアル汲水所)及小島濱ノ溪流ハ水量多クシテ良質ナリト謂フ。									
10至16		* 次ノ通改ム 移出入 主ナル移出品ハ藥品、木材、木炭等ニシテ移入品ハ機械類、金屬及同製品、礦石等ナリ。 昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>1,136</td> <td>10,436</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>430,553</td> <td>600,674</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	1,136	10,436	總噸數	430,553	600,674
	汽船	船舶總計									
隻 數	1,136	10,436									
總噸數	430,553	600,674									
	18次	次ノ通追加ス 港則 宮崎縣河川港灣取締規則、縣港灣營造物使用規程、同使用料徵收規則、同第2條ニ依ル使用料額及細島港規定アリ(水路誌附録第2卷參照)。									
19至20		* 人口 以下ヲ次ノ通改ム 人口 4,613(昭和10年國勢調査)ヲ有シ、町役場、郵便局、警察署及地方暴風標アリ。									
	21	アリ、 以下ヲ ノ建物ヲ存ス。 ト改ム									
	22	尾末灣 ノ次ニ (海圖1223) ヲ追加シ 竹島 ノ次ニ 餘島(島頂ニ著シキ1松樹アリ) ヲ追加ス									
	26	* 次ノ通改ム 方約2.5鍊ニ龜瀬ト稱スル水深4.8米及5.1米ノ暗岩アリ、「イクイ」岩ノ南方3鍊餘ニハ平瀬ト稱スル最小水深10.7米ノ淺礁アリ、又餘島ノ北北東方									

オ
5

頁	行	記 事									
		2 鏈=高サ3.4米ノ露岩アリ「ユルギ」落ト稱ス。									
		昭和10年ノ調査=依レバ灣首門川町ノ人口11,689、町ノ南端=近ク長サ200米ノ防波堤アリテ其ノ突端=高サ約7米ノ不動紅光燈ヲ有ス、此ノ町ヨリ野菜及魚類ヲ得ベシ。									
271	26次	次ノ通追加ス									
		漁網 尾末灣内ニハ多數ノ定置漁網アリ特ニ竹島及乙島ノ周圍ニ多シ。									
	28	茂生ス ノ次ニ次ノ通追加ス									
		此ノ島=接シ立岩ト稱スル1岩屹立ス高サ52米ニシテ顯著ナリ、									
		23 ヲ 24 ト改ム									
272至279	欄外	海圖191 ヲ追加ス									
272	1	水深 以下ヲ次ノ通改ム									
		中瀬ト稱スル水深6.2米ノ暗礁アリ、此ノ島ト其ノ東方約2鏈ニ在ル水深9.9米ノ暗岩トノ間ニハ水深1.4—5.6米ノ淺礁點在ス。									
	11	適スルノミ ノ次ニ 目下港灣修築中ナリ ヲ追加ス									
272至273	24至2	* 次ノ通改ム									
		移出入 主ナル移出品ハ人造絹絲、礫石、椎茸等ニシテ移入品ハ機械類、金屬及同製品等ナリ									
		昭和9年ニ於ケル出入港船舶數次ノ如シ。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>汽船</th> <th>船舶總計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隻 數</td> <td>4,794</td> <td>5,294</td> </tr> <tr> <td>總噸數</td> <td>727,900</td> <td>742,646</td> </tr> </tbody> </table>		汽船	船舶總計	隻 數	4,794	5,294	總噸數	727,900	742,646
	汽船	船舶總計									
隻 數	4,794	5,294									
總噸數	727,900	742,646									
273	3	1 回 ノ次ニ 及大阪細島線ヲ航スル汽船毎日1回 ヲ追加ス									
		末尾ニ 省線日豐本線ハ當地ニ停車ス。 ヲ追加ス									
	13,15,18	延岡町 ヲ 延岡市 ト改ム									
	15至16	* 人口 以下 女學校等アリ 迄ヲ次ノ通改ム									
		人口56,421(昭和10年國勢調査)ヲ有シ町役場、郵便局、警察署、稅務署、中學校、商業學校、女學校等アリ									
274	21	泊地トナスヲ得、 ノ次ニ次ノ通追加ス									
		島野浦港ト稱シ目下港灣修築中ナリ、									
	22次	* 次ノ通追加ス									
		燈 島野浦島ノ頂上ニ白燈アリ、高サ7米ノ木柱ニシテ漁船ノ標識ナリ、毎年漁業休業期タル2月至4月ノ約3月間ハ消燈スルコトアリ。									

頁	行	記 事
274	27	島野浦島西側小港 ヲ 島野浦港 ト改ム
276	4,7,10	名古屋鼻 ヲ 名護屋鼻 ト改ム
277	6	20分 ヲ 2分 ト改ム
	18	* 末尾ニ 人口4,197(昭和10年國勢調査)ヲ追加ス
279	3	* 3,866 ヲ 3,678 ト改メ 大正14年 ヲ 昭和10年 ト改ム
	4	末尾ニ 小浦ハ目下港灣修築中ナリ。 ヲ追加ス

頁	記	事
地名索引		
1	Arikawa Mura 有川村	ヲ Arikawa Mati 有川町 ト改ム
2	Bahan Se バハン瀬	ヲ Bahan Se 八幡瀬 ト改ム
	Birô Sima 美漁島	ヲ Birô Sima ビロウ島 ト改ム
	Dowatasi Hana ドワタシ鼻	… 134 ヲ削除ス
3	Genzirô Se	ノ次行ニ Genkai Kô 玄界港 … 49 ヲ追加ス
	Go-no-Ura 郷野浦(壹岐)75	} ヲ Go-no-Ura 郷ノ浦(琴鷲)… 90 ト改ム
	———— 郷ノ浦(琴鷲)90	
	Go-no-Ura Kô 郷ノ浦港(壹岐)75	
	Gorô-no-Sima 五郎ノ島	ヲ Gorô-ga-Sima 五郎ヶ島 ト改ム
	Haedomari	ノ次行ニ Hae-no-ha Se 南風ノ波瀬 … 93 ヲ追加ス
	* Hakata Kô 博多港	ノ頁數ヲ 51 ト改ム
	Hamao Dasi	ノ次行ニ Hama Mati 濱町 … 187 ヲ追加ス
4	Hibi Ura	ノ次行ニ Hidakatu Kô 比田勝港 … 91 ヲ追加ス
5	Hukae Hakuti 福江泊地	ヲ Hukae Kô 福江港 ト改ム
	Hukae Hakuti	ノ次行ニ Hukae Mati 福江町 … 172 ヲ追加ス
	Hukuda Saki	ノ次行ニ Hukuda Ura 福田浦… 133 } ヲ追加ス
	Hukuma Kô 福間港	… 48 }
	Huku Sima 福島(松島水道)	ノ次行ニ Hukusima Kô 福島港 261 ヲ追加ス
6	Iki Suidô	ノ次行ニ Ikituki Kô 生月港 … 106 ヲ追加ス
	Imahuku	ノ次行ニ Imahuku Kô 今福港… 71 ヲ追加ス
	Ima Sone	ノ次行ニ Imasyuku Kô 今宿港 … 50 ヲ追加ス
	Iruka Hana 江豚鼻	ヲ Iruka Saki 海豚崎 ト改ム
	Hyakkan-isi Kô	ノ次行ニ Hyakkan Se 百貫瀬 … 154 ヲ追加ス
7	Kado Sima 角島	… 130 ヲ削除ス
	Kami-Uto-no-Hana 上大戸ノ鼻	ノ頁數ヲ 198 ト改ム
8	Kane-no-Misaki	ノ次行ニ Kanazaki Kô 鐘崎港 … 46 ヲ追加ス
	Kawati Wan 川内灣	ノ次行ニ Kayaba Saki 萱場崎 … 155 ヲ追加ス
	Kazamoto Ura 勝本浦	ヲ Kazamoto Kô 勝本港 ト改ム
9	Ko-Katura Sima 小桂島… 225	} ヲ Kôjiri 神代 … 218 ト改ム
	Ko-Katura Sima 小桂島… 225	
10	Kuen Saki	ノ次行ニ Kuga Kô 久賀港 … 161 } ヲ追加ス
	Kuga Sima 久賀島	… 161 }
	Kurogi Sima	ノ上ニ Kuro-ga-Sima 黒ヶ島 … 77 ヲ追加ス

頁	記	事
11	Kuro Sima 黒島(湯ノ本浦)	… 77 ヲ削除ス
	Kuzuhara	ノ上ニ Kuzira Sima 鯨島 … 79 ヲ追加ス
12	Mae Sima	ノ次行ニ Mae Sima 前島{名島ノ南西嶼} … 79 ヲ追加ス
	Makurazaki Wan	ノ次行ニ Mamako Se ママコ瀬 … 156 ヲ追加ス
	Matusima Suidô	ノ上ニ Matusima-Kô 松島港… 130 ヲ追加ス
	Megame Sima 女龜島	… 79 ヲ削除ス
	Mieke Kô 三池港	ヲ Miike Kô 三池港 ト改ム
	Mikawa Mati 三川町	… 194 ヲ削除ス
13	Minamata Ura 水俣浦	ヲ Minamata Kô 水俣港 ト改ム
	Moto Sima	ヲ Moto Sima 本島{豊浦} … 93 } ト改ム
	Moto Sima 本島{名島}	… 79 }
	Mototori Yama 元取山(モツトリ山)	… 131 }
	Mottori Yama モツトリ山	… 131 ヲ削除ス
	* Môtû Iwa 毛通岩	ヲ Môtû Iwa モーツ岩 ト改ム
14	Nagarasu Sima 名鳥集島	ノ 集 ヲ削除ス
15	Nan Saki	ノ次行ニ Narao Kô 奈良尾港 … 155 ヲ追加ス
	Nisi-no-Ura	ノ次行ニ Nisi-no-Ura Kô 西ノ浦港 … 54 ヲ追加ス
	Nisi Tadegami	ノ次行ニ Nisitomari Hakuti 西泊泊地… 131 ヲ追加ス
	Nobu Kô	ノ次行ニ Nogita Ura 野北浦 … 54 ヲ追加ス
16	Ôdomari Wan	ノ次行ニ Ôdôtu Kô 大堂津港 … 263 ヲ追加ス
	Ôkawa Byôti	ノ次行ニ Ôkawa Mati 大川町 … 189 ヲ追加ス
	Ônaka Seto	ノ次行ニ Ônesimo 大根占 … 250 ヲ追加ス
	Oni-ga-Take	ノ次行ニ Oniike Kô 鬼池港 … 201 ヲ追加ス
17	On Take	ノ次行ニ On Take 男岳 … 74 ヲ追加ス
	* Ô-Tukue Sima 大机島(玄界島南方)	ノ頁數ヲ 50 ト改ム
18	Rokusirô Hana	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Rowatasi Hana ロワタシ鼻(ドワタシ鼻)	… 131
	Sengan Se	ノ次行ニ Sengan Se センガン瀬 … 131 ヲ追加ス
19	Siki	ノ次行ニ Sikimi Kô 式見港… 133 ヲ追加ス
	Simage Bae	ノ次行ニ Sima-no-Ura Kô 島野浦港… 274 ヲ追加ス
	Sin Kawa 新川	ノ次行ニ Singû Kô 新宮港 … 48 ヲ追加ス
	Sirakami Iwa 白神岩	ヲ Sirakami Se 白神瀬 ト改ム

頁	記	事
20	Sugiyama Se 杉山瀬	ヲ Sugiyama Dasi 杉山出シ 下改ム
	Takabo Yama	ノ次行ニ Takagusi Kô 高串港 ... 68 ヲ追加ス
	Take-no-ko Sima 竹ノ子島 (富江灣)	... 168 ヲ削除ス
	Take-no-ko Sima 竹子島 (江ノ島)	ノ次行ニ次ノ通追加ス
	Take-no-ko Sima 竹ノ小島 (富江灣)	... 168
	Take-no-ko Sima 筍島 (有川灣)	... 156
21	Tama-no Ura	ノ次行ニ Tama-no-ura Kô 玉之浦港 ... 165 ヲ追加ス
	Tategami Ura	ノ次行ニ Tategami 立串 ... 157 ヲ追加ス
22	Tômi Hana	ノ次行ニ Tomie Kô 富江港 ... 170
		Tomie Mati 富江町... 170) ヲ追加ス
	Tuma Sima 妻島	ヲ Tuma-ga-Sima 妻ヶ島 下改ム
	Tuna Sina 網島	ヲ Tuna Sima 網島 下改ム
	— Wan 網島	ヲ Tuna Wan 網島 下改ム
	Tu-no-kami Yama 津ノ神山	ヲ Tuno-kami Yama 津上山 下改ム
23	Tuno Se	ノ上ニ Tuno Kô 都農港 ... 269 ヲ追加ス
	Tuno Se	ノ次行ニ Tuno Se 角瀬 (角島) ... 130 ヲ追加ス
	Tuyazaki Hana	ノ次行ニ Tuyazaki Kô 津屋崎港... 48 ヲ追加ス
	Umedo Ura 梅戸浦	ヲ Umedo Kô 梅戸港 下改ム
24	Uti-no-Ura	ノ次行ニ Uti-no-Ura Kô 内ノ浦港 ... 261 ヲ追加ス
25	Zyôdono Saki	ノ次行ニ Zyô-ga-saki Kô 城ヶ崎港... 250 ヲ追加ス

(終)

昭和12年3月4日印刷

昭和12年3月8日發行

發行者 水路部

東京市京橋區築地5丁目

印刷者 水路部

東京市京橋區築地5丁目

販賣所

東京市麴町區丸ノ内2丁目20番地ノ1	日本郵船株式會社
橫濱市中區海岸通3丁目9番地	同 橫濱支店
名古屋市中區天王崎町4番地	同 名古屋支店
大阪市西區川口町26番地	同 大阪支店
神戸市神戸區海岸通1丁目10番地	同 神戸支店
門司市門司字棧橋通1番地ノ1	同 門司支店
長崎市常盤町4番地	同 長崎支店
函館市船場町19番地 (近海郵船株式會社 函館支店)	同 函館代理店
小樽市手宮町3丁目15番地 (近海郵船株式會社 小樽支店)	同 小樽代理店
臺灣基隆市明治町1丁目8番地 (近海郵船株式會社 基隆支店)	同 基隆代理店
朝鮮釜山府大倉町1丁目6番地 (朝鮮郵船株式會社釜山支店內 庶務課釜山分室)	同 釜山代理店
大連市山縣通181番地	同 大連出張所
中華民國上海黃浦灘路第31號	同 上海支店
神戸市神戸區明石町32番地	日本船主協會

(定價金45錢)

7
5

水
5

水
53